

県指定等文化財

1 有形文化財

(1) 建造物

No.	名 称	員数	概 要	所在地 (緯度経度)	所有者 (管理者)	指定年月日	指定番号	最寄り駅 (備考)
1	安楽寺三重塔	1 基	江戸時代前期。銅板葺（もとこけら葺）、方三間3層、和様。安楽寺の中興開山杲鏡法印の造営。	比企郡吉見町 御所 374 (36.0546, 139.4384)	安楽寺	昭 28・3・26	埼玉指 第 1 号	東武東上線 東松山駅
2	秩父神社社殿 付 神輿一基 天正二十年の 棟札 一枚	1 棟	江戸時代前期。三間社流造の本殿に幣殿・拝殿を付した複合社殿、銅板葺。桃山風、天和2年増築。	秩父市番場町 1-1 (35.9976, 139.0841)	秩父神社	昭 30・11・1	埼玉指 第 37 号	秩父鉄道 秩父駅
3	花蔵院の四脚門	1 棟	江戸時代中期。切妻造、棧瓦葺、細部禅宗様。昭和27年江戸川改修工事に伴い現在地に移築。	春日部市西金 野井 339-5 (35.9864, 139.8070)	花蔵院	昭 30・11・1	埼玉指 第 38 号	東武野田線 南桜井駅
4	三芳野神社社殿及び 末社蛭子社・大黒社 付 明暦二年の 棟札一枚	3 棟	三間社の本殿に幣殿・拝殿を付した複合社殿、銅板葺。川越城主酒井忠勝が幕命を受けて寛永元年に造営。	川越市郭町 2-25-11 (35.9242, 139.4925)	三芳野神社	昭 30・11・1 (末社追加指定) 平 4・3・11	埼玉指 第 39 号	J R 川越線 東武東上線 川越駅、 西武池袋線 本川越駅 (棟札は川越市 立博物館寄託)
5	喜多院番所	1 棟	江戸時代。山門の右側に隣接、起り屋根、棧瓦葺の小建築。	川越市小仙波 町 1-20-1 (35.9179, 139.4901)	喜多院	昭 31・3・23	埼玉指 第 69 号	J R 川越線 東武東上線 川越駅、 西武池袋線 本川越駅
6	鶴ヶ丸八幡神社本殿 付 棟札一枚	1 棟	寛永4年の棟札。三間社流造、こけら葺。和様を基本。	川口市芝 6843 (35.8460, 139.6891)	鶴ヶ丸八幡 神社	昭 31・11・1	埼玉指 第 72 号	J R 京浜東北線 蔵駅
7	香取神社本殿	1 棟	高欄の擬宝珠に寛永16年の刻銘。一間社流造、こけら葺。昭和26年に現在地に移築。	春日部市西金 野井 1053 (35.9926, 139.8139)	香取神社	昭 31・11・1	埼玉指 第 73 号	東武野田線 南桜井駅
8	氷川神社本殿 付 造営関係 文書四冊	1 棟	江戸時代後期。三間社入母屋造、銅瓦葺、向拝付。全面に精巧な彫刻を施す。	川越市宮下町 2-11-3 (35.9275, 139.4885)	氷川神社	昭 31・11・1	埼玉指 第 74 号	J R 川越線 東武東上線 川越駅、 西武池袋線 本川越駅
9	八坂神社社殿	1 棟	入母屋造、桁行三間、梁間二間社、銅瓦棒葺。寛永14年、江戸城二ノ丸東照宮内宮として建立。明暦2年に縮小移築、明治5年に再移築。	川越市宮下町 2-11-3 (35.9276, 139.4884)	氷川神社	昭 31・11・1	埼玉指 第 75 号	J R 川越線 東武東上線 川越駅、 西武池袋線 本川越駅
10	秩父札所一番観音堂	1 棟	元禄10年。入母屋造、銅瓦葺。向拝付、禅宗様。大工藤田徳左衛門吉久。	秩父市栃谷 418 (36.0273, 139.1207)	四萬部寺	昭 33・3・20	埼玉指 第 89 号	秩父鉄道 秩父駅

No.	名 称	員数	概 要	所在地 (緯度経度)	所有者 (管理者)	指定年月日	指定番号	最寄り駅 (備考)
11	長光寺惣門	1 棟	江戸時代。切妻造、銅板葺（もと茅葺）の四脚門。軒二重垂木。桁行 2.74m、梁間 2.74m。	飯能市下直竹 1056 (35.8428, 139.2750)	長光寺	昭 33・3・20	埼玉指 第 90 号	西武池袋線 飯能駅
12	龍泉寺の観音堂	1 棟	江戸時代。方形造、銅板葺（もと茅葺）。方三間、細部は和唐折衷風。	熊谷市善ヶ島 187 (36.2155, 139.4001)	龍泉寺	昭 34・3・20	埼玉指 第 115 号	J R 高崎線 秩父鉄道 熊谷駅
13	三峯神社	7 棟		秩父市三峰 298	三峯神社	昭 36・3・1 (追加指定) 令 5・3・17	埼玉指 第 147 号	秩父鉄道 三峰口駅
	本殿 付棟札一枚 柄（墨書）一本	1 棟	寛文元年。一間社隅木入春日造、銅板葺。方二間、向拝付、正面及び両側面に縁・高欄を巡らす。 (35.9255,138.9305)					
	拝殿	1 棟	寛政 12 年。正面五間、側面三間、入母屋造の銅板葺。正面向拝一間、背面張出二間。本殿と同様に柱は黒漆、壁面は朱塗、組物や蓑股など極彩色。(35.92537,138.93035)					
	隨身門	1 棟	寛政 4 年。大工棟梁は妻沼の林兵庫正信。屋根形式は切妻造の銅板葺で軒唐破風が付く。県内有数の大規模な八脚門。軒唐破風に極彩色の彫刻。(35.92447,138.93149)					
	国常立神社	1 棟	宝暦 11 年。もとは本地堂または護摩堂と呼ばれ、十一面観音立像と不動像が安置。 (35.92522,138.93063)					
	日本武神社	1 棟	嘉永 6 年。かつての役行者堂を神社としたもので、向拝を持つ妻入社殿の典型的な構造。 (35.92519,138.93074)					
	手水舎	1 棟	嘉永 6 年。切妻造両軒唐破風。四面に極彩色の彫刻をあしらう。彫刻は当初、彩色は変化の可能性。 (35.92524,138.93007)					
	秩父宮台臨記念館	1 棟	昭和 6 年。木造平屋建の寄棟造（一部方形屋根）、鉄瓦棒葺。宮殿建築の性格。設計者の関根要太郎（1889～1959）は秩父の生まれで、台臨記念館は秩父地域に現存する唯一の関根作品。 (35.92377,138.93209)					
14	五社神社本殿	1 棟	江戸時代前期。五間社流造、銅板葺（もと茅葺）。向拝付、蓑股秀作。県内唯一の五間社。	南埼玉郡宮代町東 90 (36.0013, 139.7313)	五社神社	昭 37・3・10	埼玉指 第 159 号	東武伊勢崎線 姫宮駅
15	多宝塔	1 基	慶長 12 年。多宝塔、本瓦葺。方三間。もと大阪府高槻市梶原の畠山神社に所在、昭和 35 年移築。	所沢市上山口 2213 狭山山不動寺 (35.7704, 139.4163)	西武リアルティ ソリューションズ	昭 38・3・29	埼玉指 第 171 号	西武狭山線 山口線 西武球場前 駅
16	雷電神社本殿 付 扉一組（二枚）	1 棟	桃山から江戸時代初期。一間社流造、銅瓦棒葺。向拝付。成田氏が大檀那となって建立。	熊谷市上之 16 (36.1560, 139.4158)	上之村神社	昭 41・3・8	埼玉指 第 211 号	J R 高崎線 秩父鉄道 熊谷駅
17	上之村神社本殿	1 棟	江戸時代前期。一間社流造、銅板葺。蓑股に十二支を彫刻。	熊谷市上之 16 (36.1561, 139.4159)	上之村神社	昭 41・3・8	埼玉指 第 212 号	J R 高崎線 秩父鉄道 熊谷駅

No.	名 称	員数	概 要	所在地 (緯度経度)	所有者 (管理者)	指定年月日	指定番号	最寄り駅 (備考)
18	川越城本丸御殿及び 家老詰所	2 棟	嘉永元年。入母屋造、棧瓦葺。 中央に大唐破風、霧よけ付の 玄関。家老詰所は上福岡市星 野家へ移築されていたものを 昭和 62 年に再移築。	川越市郭町 2-13-1 (35.9244, 139.4915)	川越市	昭 42・3・28 (追加指定) 平 3・3・15	埼玉指 第 217 号	J R 川越線 東武東上線 川越駅、 西武池袋線 本川越駅
19	八幡神社本殿 付 棟札一枚	1 棟	一間社流造、板葺。本殿前面 のみ床をつけた見世棚造、向 拝付。棟札は慶長 13 年銘で、 屋根板を利用したもの。	所沢市久米 2428 (35.7768, 139.4579)	八幡神社	昭 43・3・29	埼玉指 第 225 号	西武池袋線 西武新宿線 所沢駅
20	喜多院慈恵堂	1 棟	寛永 16 年。入母屋造、銅板葺 (もと棧瓦葺)、向拝付、桁行 九間、梁間六間。前方三間を 外陣、後方二間を内陣とする 喜多院の本堂。	川越市小仙波 町 1-20-1 (35.9175, 139.4890)	喜多院	昭 43・12・17	埼玉指 第 230 号	J R 川越線 東武東上線 川越駅、 西武池袋線 本川越駅
21	喜多院多宝塔	1 基	寛永 16 年と伝える。三間多 宝塔、本瓦葺。昭和 48 年度 復原修理。	川越市小仙波 町 1-20-1 (35.9179, 139.4893)	喜多院	昭 43・12・17	埼玉指 第 231 号	J R 川越線 東武東上線 川越駅、 西武池袋線 本川越駅
22	競進社模範蚕室	1 棟	明治 27 年。木造二階建、切 妻造、棧瓦葺。桁行 22m、梁 間 7m。蚕業建築物の遺構。	本庄市児玉町 児玉 2514-27 (36.1915, 139.1338)	本庄市	昭 45・3・30	埼玉指 第 234 号	J R 八高線 児玉駅
23	内谷氷川神社本殿	2 棟	一間社流造、板葺。見世棚造、 向拝付。同型の小社を二社並 列する珍しい例。	さいたま市南 区内谷 2-2- 17 (35.8342, 139.6346)	氷川社	昭 46・3・31	埼玉指 第 238 号	J R 京浜東北線 武蔵野線 南浦和駅
24	旧本庄警察署	1 棟	明治 16 年。木造二階建、棧瓦 葺。洋風建築。昭和 55 年修理、 市立歴史民俗資料館として活 用したが、令和 2 年 2 月閉館。	本庄市中央 1-2-3 (36.2419, 139.1848)	本庄市	昭 47・3・28	埼玉指 第 248 号	J R 高崎線 本庄駅
25	西福寺三重塔 付 元禄六年 棟札一枚	1 基	元禄 6 年。方三間の三重塔、 銅瓦棒葺(もと檜皮葺)。和様。 甲子の年に「塔のぼせ」の行 事。	川口市西立野 420 (35.8564, 139.7492)	西福寺	昭 47・3・28	埼玉指 第 249 号	J R 武蔵野線 東川口駅、 埼玉高速鉄道 戸塚安行駅
26	平林寺	4 棟	臨済宗妙心寺派の専門道場。 寛文 3 年、松平信綱の遺志に より子の輝綱が岩槻から現在 地に移す。	新座市野火止 3-1-1	平林寺	昭 48・3・9	埼玉指 第 258 号	J R 武蔵野線 新座駅
	惣 門	1 棟	四脚門、禅宗様、切妻造、茅葺。軒は二重繁垂木。桁行 4.1m、梁間 3.4m。(35.7891,139.5618)					
	三 門	1 棟	寛文 4 年の棟札。三間一戸の楼門。入母屋造、茅葺。禅宗様。石川丈山筆「凌霄閣」の額。上層に十六羅漢安置。(35.7893,139.5612)					
	仏 殿	1 棟	江戸時代前期。入母屋造、茅葺。五間四面、禅宗様、桁行 11.6m、梁間 10.7m。三門の細部と意匠が似ている。(35.7895,139.5608)					
	中 門	1 棟	切妻造、茅葺の四脚門。桁行 3 m、梁間 2.5m。解体再建の痕跡あり。(35.7895,139.5606)					

No.	名 称	員数	概 要	所在地 (緯度経度)	所有者 (管理者)	指定年月日	指定番号	最寄り駅 (備考)
27	法養寺薬師堂	1 棟	室町時代末期。寄棟造、茅葺型銅板葺（もと棧瓦葺）。向拝付、方三間。内陣小壁に慶長3年の落書。	秩父郡小鹿野町両神薄2301-1 (36.0069, 138.9720)	法養寺薬師堂奉賛会	昭 49・3・8	埼玉指第 267 号	秩父鉄道三峰口駅
28	成就院三重塔	1 基	享保14年の棟札。一間三重塔、銅瓦棒葺。法印芳宥の造営。小規模、簡素。	行田市長野7618 (36.1332, 139.4897)	成就院	昭 50・3・31	埼玉指第 274 号	秩父鉄道東行田駅
29	安楽寺本堂	1 棟	寛文元年の棟札あり。寄棟造、銅瓦棒葺（もと檜皮葺）。方五間。前二間が外陣、後三間の中央三間が内陣、左右一間が脇陣。	比企郡吉見町御所 374 (36.0543, 139.4383)	安楽寺	昭 52・3・29	埼玉指第 288 号	東武東上線東松山駅
30	桶川宿本陣遺構	1 棟	中山道桶川宿本陣のうちの座敷構。上段の間、座敷、湯殿、廁等が残る。	桶川市寿2-2-4 (36.0021, 139.5653)	個人	昭 55・3・29	埼玉指第 301 号	J R 高崎線桶川駅
31	龍穩寺経蔵	1 棟	天保12年。三間四面の方形造、銅板葺。唐破風向拝付。土蔵造の壁面には、彫師岸亦八による「道元禪師一代記」が彫刻されている。	入間郡越生町龍ヶ谷 452 (35.9540, 139.2447)	龍穩寺	昭 58・3・22	埼玉指第 319 号	J R 八高線東武越生線越生駅
32	大牧氷川女体神社本殿 付 寛永十三年棟札一枚 貞享元年棟札一枚	1 棟	寛永13年。一間社流造、板葺。見世棚造、向拝付。見世棚造の年代判定の基準例。	さいたま市緑区東浦和6-23-1 (35.8747, 139.7062)	個人	昭 62・3・24	埼玉指第 333 号	J R 武蔵野線東浦和駅
33	八幡神社社殿及び銅製鳥居	1 棟	本殿、幣殿、拝殿の連結した複合社殿。和様に禅宗様を加味。鳥居は銅製鑄造の明神鳥居。高さ 5.58m。	本庄市児玉町児玉 198 (36.1890, 139.1335)	八幡神社	平 2・3・28	埼玉指第 364 号	J R 八高線児玉駅
34	下新堀久伊豆神社本殿 付 棟札二枚	1 棟	宝永6年と文化10年の棟札あり。一間社流造、こけら葺。壁面に彫刻がつく早い例。	久喜市菖蒲町新堀 600 (36.0650, 139.5965)	下新堀久伊豆神社	平 3・3・15	埼玉指第 370 号	J R 高崎線桶川駅
35	常楽院不動堂 付 棟札二枚 扣帳二冊	1 棟	嘉永2年。五間四面。内陣に外陣を付設。密教寺院の仏堂の特色をもつ。	飯能市高山346 (35.9401, 139.2192)	常楽院	平 4・3・11	埼玉指第 379 号	西武秩父線西吾野駅
36	高麗神社本殿	1 棟	室町時代後期。一間社流造、檜皮葺。向拝付。円柱の向拝柱、彩色一部残存。覆堂内。	日高市新堀833 (35.8985, 139.3226)	高麗神社	平 4・3・11	埼玉指第 380 号	J R 川越線八高線高麗川駅
37	長光寺本堂 付 銅鐘一口 伽藍配置図一枚	1 棟	寛永15年。寄棟造、銅板葺（もと茅葺）。近世曹洞宗建造物の典型。前面に土間を配した二列八室形式。内陣等に壁画。	飯能市下直竹1056 (35.8439, 139.2750)	長光寺	平 5・3・10	埼玉指第 392 号	西武池袋線飯能駅

No.	名 称	員数	概 要	所在地 (緯度経度)	所有者 (管理者)	指定年月日	指定番号	最寄り駅 (備考)
38	白鬚神社本殿	1 棟	江戸時代初期。一間社流造、板葺。墓股の意匠に特徴。屋根修理の際に文和 4 年の御正体発見。覆屋内。	飯能市唐竹 8 (35.8588, 139.2306)	白鬚神社	平 5・3・10	埼玉指 第 393 号	西武池袋線 飯能駅、 J R 八高線 東飯能駅
39	日本赤十字社埼玉県支部旧社屋	1 棟	明治 38 年旧浦和市に建設。木造平屋建の洋風建築。軒飾り廊下等にコロニアルスタイルを模倣。昭和 58 年、現在地に移築、校舎として活用。	比企郡嵐山町 鎌形字東上原 2231-1 ほか (嵐山町立嵐 山幼稚園) (36.0258, 139.3117)	嵐山町	平 6・3・16	埼玉指 第 401 号	東武東上線 武蔵嵐山駅
40	古尾谷八幡神社社殿 付 享保七年銘 棟札一枚	1 棟	享保 7 年。入母屋造、銅瓦棒葺（もと瓦葺）の本殿と拝殿を銅板平葺の幣殿で繋ぐ複合社殿。簡素化された権現造。	川越市古谷本 郷 1408-1 (35.9040, 139.5491)	古尾谷八幡 神社	平 7・3・17	埼玉指 第 416 号	J R 川越線 南古谷駅
41	古尾谷八幡神社旧本殿 付 天正五年銘 棟札一枚	1 棟	天正 5 年。二間社流造、銅板葺。室町の様式を遺す。珍しい二間社の見世棚造。	川越市古谷本 郷 1408-1 (35.9041, 139.5490)	古尾谷八幡 神社	平 7・3・17	埼玉指 第 417 号	J R 川越線 南古谷駅 (棟札は川 越市立博物 館に寄託)
42	本太氷川神社旧本殿 付 慶安三年護摩 札一枚	1 棟	慶安 3 年の護摩札あり。一間社流造、板葺。素朴な見世棚造の社殿。	さいたま市 浦和区本太 4-27 (35.8665, 139.6578)	氷川神社	平 7・3・17	埼玉指 第 418 号	J R 浦和駅
43	安楽寺仁王門	1 棟	元禄年間。三間一戸の八脚門。切妻造、銅板葺（もと瓦葺）。三棟造。	比企郡吉見町 御所 374 (36.0540, 139.4386)	安楽寺	平 7・3・17	埼玉指 第 419 号	東武東上線 東松山駅
44	諸井家住宅	1 棟	明治 10 年。木造二階建、切妻造、棧瓦葺。塗屋造、漆喰の天井、ベランダ、色ガラスを入れたアーチ窓等随所に洋風建築の影響。	本庄市中央 1-8-1 (36.2409, 139.1864)	株式会社 諸井家	平 10・3・17	埼玉指 第 442 号	J R 高崎線 本庄駅
45	旧秩父橋 付 初代秩父橋 橋脚二基及び 親柱二本	1 基	昭和 6 年。鉄筋コンクリート造、三連アーチ橋。橋長 134.6m、幅員 6.0m、川床から橋面までの高さ 21m。初代秩父橋は明治 18 年竣工の洋式木橋。	秩父市阿保町 3795-1 地先 ほか (36.0186, 139.0866)	秩父市	平 11・3・19	埼玉指 第 450 号	秩父鉄道 大野原駅
46	名栗川橋	1 基	大正 13 年。鉄筋コンクリート造、一径間上路のアーチ橋。橋長 31.4m、幅員 3.9m。	飯能市下名栗 278-1 地先ほ か (35.8605, 139.1885)	飯能市	平 11・3・19	埼玉指 第 451 号	西武池袋線 飯能駅、 J R 八高線 東飯能駅
47	甚左衛門堰	1 基	明治 27 年。煉瓦造、二連アーチ型樋門。堰長 5.66m、幅員 1.84m、全高 3.0m、アーチスパン 1.84m、ライズ 0.6m。	草加市神明 2-145-1 ほか (35.8359, 139.8084)	草加市	平 11・3・19	埼玉指 第 452 号	東武伊勢崎線 草加駅

No.	名 称	員数	概 要	所在地 (緯度経度)	所有者 (管理者)	指定年月日	指定番号	最寄り駅 (備考)
48	清風亭	1 棟	大正 15 年東京都世田谷区に建築。鉄筋コンクリート造平屋建、切妻造、施釉瓦葺。建物ほぼ中央に大きく広間、その東側にベランダをつける。平成 11 年現在地に移築。	深谷市起会字 唐言 110-1 (36.2228, 139.2756)	深谷市	平 16・3・23	埼玉指 第 493 号	J R 高崎線 深谷駅
49	氷川女體神社社殿 付寛文七年銘 棟札一枚	1 棟	寛文 7 年銘の棟札あり。三間社流造、本殿と拝殿を幣殿でつなぐ複合社殿。	さいたま市緑 区宮本 2-17-1 (35.8869, 139.6938)	氷川女體神社	平 19・3・16	埼玉指 第 508 号	J R 武蔵野線 東浦和駅
50	八宮神社社殿及び青 麻三光宮本殿 付 棟札四枚	2 棟	八宮神社本殿は、天保 4 年建立。棟梁は、妻沼の林兵庫。石原常八らによる精巧な彫刻が施される。本殿とやや時代が下がる拝殿を幣殿でつないだ複合社殿。青麻三光宮本殿も、林兵庫による建立。八宮神社の天保 4 年銘棟札 2 枚、青麻三光宮の天保 13 年銘棟札 2 枚あり。	比企郡小川町 小川 991-1 (36.0559, 139.2753)	八宮神社	平 24・3・16	埼玉指 第 525 号	東武東上線 J R 八高線 小川町駅
51	横瀬神社本殿及び拝 殿 付 幣殿一棟 本殿覆屋一棟 棟札五枚	2 棟	本殿は安永 7 年建立。棟梁は岩瀬求馬正藤原治賢。全体に、前原藤次郎らにより精巧な彫刻が施される。一間社入母屋造、銅板葺。拝殿は明治 32 年再建。細部に本殿の技法や意匠を受け継ぐ。入母屋造、棧瓦葺、平入。安永 7 年本殿棟札、明治 41 年本殿棟札写し、文化 6 年拝殿棟札、明治 32 年拝殿再建棟札、明治 44 年拝殿修繕遷宮棟札あり。	深谷市横瀬 1358 (36.2377, 139.2452)	横瀬神社	平 27・3・13	埼玉指 第 534 号	J R 高崎線 岡部駅
52	五ヶ門樋 付 中庄内樋管一基 排水機跡一基	1 基	明治 25 年。煉瓦造、アーチ型樋門。幅約 3m、高さ約 2m、長さ約 8m。周辺には関連する各時期の排水施設の遺構が残る。	春日部市水角 1899 地先 (35.9688, 139.7870)	春日部市	平 27・3・13	埼玉指 第 535 号	東武伊勢崎線 一ノ割駅
53	諏訪神社本殿	1 棟	延享 3 年。一間社流造、正面千鳥破風付、檜皮葺、向拝付。覆屋内。大工棟梁は三ヶ尻村の内田清八郎、彫物大工棟梁は上州花輪村の石原吟八郎ら。全体が精巧で緻密な彫刻により装飾される。	熊谷市上新田 227 (36.1316, 139.3181)	諏訪神社	平 28・3・15	埼玉指 第 543 号	秩父鉄道 大麻生駅
54	金鑽神社社殿	1 棟	江戸中期～末期。木造平屋建。本殿は享保 9 年、幣殿は嘉永 3 年、拝殿は安永 7 年の建立と伝わる複合社殿、透塀付。児玉郡神川町二ノ宮に所在する金鑽神社の遙宮として創建されたと伝えられる。祭神は、天照大神、素戔鳴尊、日本武尊の三柱。	本庄市千代田 3-2-3 (36.2432, 139.1770)	金鑽神社	平 29・3・24	埼玉指 第 550 号	J R 高崎線 本庄駅

No.	名 称	員数	概 要	所在地 (緯度経度)	所有者 (管理者)	指定年月日	指定番号	最寄り駅 (備考)
55	めがね橋 (旧倉松落 大口逆除) 付 倉松落大口逆 除之碑	1 基	明治 24 年。煉瓦造、アーチ 型樋門。橋長 12.5m、橋幅 9.2m、 測量による樋門の復元規模 は、径間 1.95m のアーチ 4 連 よりなり、翼壁幅は約 3.5m。 大落古利根川から倉松落への 逆流を防止するために建設さ れた旧「倉松落大口逆除」で、 現在は橋として利用されてい る。	春日部市八丁 目 710 (35.9876, 139.7612)	春日部市	平 31・2・22	埼文指 第 562 号	東武伊勢崎線 野田線 春日部駅
56	中山神社旧本殿	1 棟	二間社流造長板葺で、三方縁 床、向拝柱前方に木階付き。 見世棚造の形式を基本にしな がら、身舎柱前面の縁床（大 床）を向拝柱まで延ばしその 前方に木階を組み、身舎側面 にも縁を廻したものであり、 見世棚造から流造へ移行する 過渡的な状態を示す。	さいたま市見 沼区大字中川 143 (35.900135、 139.664033)	中山神社	令 2・2・21	埼文指 第 567 号	J R 高崎線 さいたま新 都心駅

(2) 絵 画

No.	名 称	員数	概 要	所在地 (緯度経度)	所有者 (管理者)	指定年月日	指定番号	最寄り駅 (備考)
1	絹本着色十三仏像	1 幅	室町時代初期。絹本着色。諸尊皆金色、截金文多用。十三仏を5段に配列。106.0 × 49.0cm。	秩父郡小鹿野町小鹿野1823	十輪寺	昭29・10・23	埼玉指第20号	秩父鉄道秩父駅
2	鷹絵額	12 面	江戸時代前期、伝狩野探幽筆。板絵、金砂子地に彩色。寛永14年阿部対馬守重次奉獻の墨書。各64.2 × 51.5cm。	川越市小仙波町1-21-1	仙波東照宮	昭29・10・23	埼玉指第21号	J R川越線東武東上線川越駅、西武新宿線本川越駅(川越市立博物館に寄託)
3	松図格天井画 華山筆	1 枚	天保3年、渡辺華山筆。「壬辰春月華山登」の落款。40.3 × 40.3cm。	熊谷市三ヶ尻3712	龍泉寺	昭30・11・1	埼玉指第41号	秩父鉄道大麻生駅
4	北野天神社縁起付 旧軸木七本	7 幅	室町時代。絹本着色。菅原道真の一代絵物語。元亀3年補修。114.0 × 81.2cm。	所沢市小手指元町3-28-44	北野天神社	昭30・11・1	埼玉指第42号	西武池袋線小手指駅(県立歴史と民俗の博物館に寄託)
5	元照和尚画像	1 幅	南北朝時代末期。絹本着色。曲沓倚坐全身像、賛なし。大興寺開山の陽嶽元照和尚頂相。88.7 × 42.7cm。	児玉郡美里町広木2618	大興寺	昭30・11・1	埼玉指第43号	J R八高線松久駅
6	月江正文和尚頂相	1 幅	室町時代。絹本着色。曲沓倚坐全身像。賛なし。普門院開山の頂相。71.0 × 35.5cm。	さいたま市大宮区大成町2-402	普門院	昭31・11・1	埼玉指第76号	J R東武野田線埼玉新都市交通ニューシャトル大宮駅(県立歴史と民俗の博物館に寄託)
7	絹本着色不動明王画像	1 幅	室町時代後期。絹本着色。左右に二童子侍立。248.0 × 112.7cmの大幅。	飯能市高山346	常楽院	昭33・3・20	埼玉指第91号	西武秩父線西吾野駅
8	絹本着色両界曼荼羅	2 幅	南北朝時代。絹本着色。画面の周囲に仏具の描表装。各95.0 × 76.0cm。	さいたま市北区吉野町1-36-2	清浄院	昭33・3・20	埼玉指第92号	埼玉新都市交通ニューシャトル今羽駅
9	龍派禅珠頂相	1 幅	江戸時代。紙本着色。曲沓倚坐全身像。自賛。長徳寺の中興開山の頂相。85.5 × 38.8cm。	川口市芝6303	長徳寺	昭33・3・20	埼玉指第93号	J R京浜東北線(県立歴史と民俗の博物館に貸出)
10	中峰明本頂相	1 幅	絹本着色。曲沓倚坐全身像。自賛(笹の葉書)。中国銭塘の禅僧の頂相。113.0 × 49.4cm。	川口市芝6303	長徳寺	昭33・3・20	埼玉指第94号	J R京浜東北線蕨駅(県立歴史と民俗の博物館に貸出)

No.	名 称	員数	概 要	所在地 (緯度経度)	所有者 (管理者)	指定年月日	指定番号	最寄り駅 (備考)
11	石燕の納額 景清の ろう破り	1 面	江戸時代中期、鳥山石燕筆。 檜材の板絵に彩色、工芸的装飾。 87.0 × 58.3cm。	秩父市下影森 348	円融寺	昭 35・3・1	埼玉指 第 132 号	秩父鉄道 影森駅
12	紙本淡彩双雁図	2 幅	天保 2 年、渡辺崋山 39 歳の筆。 紙本淡彩。各 123.1 × 56.5cm。	熊谷市三ヶ尻 3712	龍泉寺	昭 35・3・1	埼玉指 第 133 号	秩父鉄道 大麻生駅 (県立歴史と 民俗の博物館 に寄託)
13	三芳野天神縁起 付 金梨地漆塗 外箱	1 巻	江戸時代前期。紙本着色。三 芳野神社の創建から遷宮に至 るまでの絵巻物。松平伊豆守 信綱奉納。	川越市郭町 2-25-11	三芳野神社	昭 35・3・1	埼玉指 第 134 号	J R 川越線 東武東上線 川越駅、 西武新宿線 本川越駅 (川越市立博 物館に寄託)
14	北斎筆徐福図	1 幅	弘化 2 年、葛飾北斎 86 歳の 作。紙本着色。徐福は中国秦 時代の伝説上の人物。 122.3 × 54.4cm。	深谷市	個人	昭 37・3・10	埼玉指 第 160 号	(県立歴史と 民俗の博物館 に貸出)
15	徳川家康画像	1 幅	江戸時代初期。紙本着色。 壮年期の家康像。 101.0 × 51.0cm。	行田市本丸 12-5	東照宮	昭 37・3・10	埼玉指 第 161 号	秩父鉄道 行田市駅
16	叔悦禅師頂相	1 幅	室町時代。紙本着色。曲糸倚 坐全身像。叔悦は太田道灌の 弟で円覚寺住職、養竹院の開 山。82.5 × 36.5cm。	比企郡川島町 表 9	養竹院	昭 39・3・27	埼玉指 第 175 号	J R 高崎線 桶川駅 (県立歴史と 民俗の博物館 に貸出)
17	氷川神社行幸絵巻 付 原本一巻 下絵一巻	1 巻	絹本着色。明治元年の明治天 皇の武蔵一の宮行幸の絵巻。 川越氷川神社祠官の山田衛居 作。40.3 × 1332.0cm。	さいたま市大 宮区高鼻町 1-407	氷川神社	昭 39・11・17	埼玉指 第 195 号	J R 東武野田線 埼玉新都市 交通ニュー シャトル 大宮駅
18	伝武田信玄陽雲院夫 妻画像	1 幅	寛文 9 年、狩野元俊筆。絹本 着色、定本的な作例。 32.3 × 33.0cm。	児玉郡上里町 金久保 701	陽雲寺	昭 43・3・29	埼玉指 第 226 号	J R 高崎線 神保原駅
19	絹本着色足利政氏像	1 幅	室町時代。絹本着色。曲糸倚 坐全身像。上部に永正 18 年 の賛、政氏の寿像。 107.7 × 52.7cm。	久喜市本町 7-2-18	甘棠院	昭 51・3・30	埼玉指 第 280 号	J R 宇都宮線 東武伊勢崎線 久喜駅 (県立歴史と 民俗の博物館 に貸出)
20	絹本着色両界曼荼羅	2 面	室町時代。絹本着色。 各 82 × 68cm。現在額装。	さいたま市 浦和区仲町 2-13-22	玉蔵院	昭 53・3・28	埼玉指 第 293 号	J R 浦和駅
21	三覚院本堂格間板絵	25 面	文政 13 年、鶯甫筆。琳派の 流れをくむ。花鳥画。	草加市	三覚院	昭 53・3・28	埼玉指 第 294 号	東武伊勢崎線 獨協大学前 〈草加松原〉 駅

No.	名 称	員数	概 要	所在地 (緯度経度)	所有者 (管理者)	指定年月日	指定番号	最寄り駅 (備考)
22	絹本着色徳川家康画像	1 幅	江戸時代。絹本着色。上部に天海の賛。束帯姿の家康像。77.0 × 36.8cm。	比企郡ときがわ町西平 386	慈光寺	昭 55・3・29	埼玉指 第 302 号	J R 八高線 明覚駅
23	絹本着色天海僧正画像	1 幅	江戸時代。絹本着色。上部に墨書による偈。僧正の盛装姿の天海像。77.0 × 41.2cm。	比企郡ときがわ町西平 386	慈光寺	昭 55・3・29	埼玉指 第 303 号	J R 八高線 明覚駅
24	絹本着色阿弥陀廿五菩薩来迎図	1 幅	鎌倉時代末期。絹本着色。阿弥陀如来及び二十五菩薩が往生人をめざして乗雲来迎。108.5 × 82.8cm。	鴻巣市本町 8-2-31	勝願寺	昭 63・2・26	埼玉指 第 348 号	J R 高崎線 鴻巣駅
25	絹本着色長江晴楼図 橋本雅邦筆	1 幅	明治 33 年頃、橋本雅邦筆。絹本着色。中国揚子江の幽遠広大な景観を描いた晩年の代表作。66.9 × 139.8cm。	さいたま市浦和区常盤 9-30-1	埼玉県 (県立近代美術館)	平 3・3・15	埼玉指 第 371 号	J R 京浜東北線 北浦和駅
26	絹本着色虚空蔵菩薩像	1 幅	鎌倉時代末期。絹本着色。正系の伝統を保持する虚空蔵画像。86.0 × 67.8cm。	八潮市八條 1763	清勝院	平 5・3・10	埼玉指 第 395 号	東武伊勢崎線 草加駅 つくばエクスプレス 八潮駅
27	絹本着色如意輪観音像	1 幅	鎌倉時代末期～南北朝時代。絹本着色。濃紺地。半跏する六臂の如意輪観音像。86.0 × 39.9cm。	久喜市菖蒲町菖蒲字宮本 655	吉祥院	平 6・3・16	埼玉指 第 402 号	J R 宇都宮線 東武伊勢崎線 久喜駅
28	絹本着色地藏菩薩像	1 幅	鎌倉時代末期。絹本着色。踏割蓮華座に立つ地藏菩薩。左斜め向きに來迎。81.8 × 36.2cm。	久喜市菖蒲町菖蒲字宮本 655	吉祥院	平 6・3・16	埼玉指 第 403 号	J R 宇都宮線 東武伊勢崎線 久喜駅
29	絹本着色五大尊像	1 幅	鎌倉時代末期。絹本着色。不動を中央に四尊を周囲に配置。106.3 × 39.7cm。	久喜市菖蒲町菖蒲字宮本 655	吉祥院	平 6・3・16	埼玉指 第 404 号	J R 宇都宮線 東武伊勢崎線 久喜駅
30	絹本着色仏涅槃図	1 幅	鎌倉時代中期。絹本着色。小ぶり、縦長の涅槃図。截金を多用した優美な作。86.5 × 42.8cm。	飯能市中山 520	智観寺	平 7・3・17	埼玉指 第 420 号	西武池袋線 飯能駅、 J R 八高線 東飯能駅 (県立歴史と民俗の博物館に寄託)
31	紙本着色太平記絵巻 (巻第一、二、六、七、十)	5 巻	江戸時代前期。紙本着色。全 12 巻のうち、『太平記』を題材にした現存最古の絵巻。海北友雪筆と推定。	さいたま市大宮区高鼻町 4-219	埼玉県 (県立歴史と民俗の博物館)	平 8・3・19 (名称変更・追加指定) 平 9・3・18 平 14・3・22 平 15・3・18	埼玉指 第 426 号	東武野田線 大宮公園駅
32	一の谷合戦図屏風 海北友雪筆	1 双	江戸時代前期、海北友雪筆。紙本着色、六曲一双。『平家物語』の「敦盛の段」。各 160.8 × 357.8cm。	さいたま市大宮区高鼻町 4-219	埼玉県 (県立歴史と民俗の博物館)	平 8・3・19	埼玉指 第 427 号	東武野田線 大宮公園駅

No.	名 称	員数	概 要	所在地 (緯度経度)	所有者 (管理者)	指定年月日	指定番号	最寄り駅 (備考)
33	絹本着色太田資頼像	1 幅	室町時代。曲糸倚坐全身像。資頼は岩付城主で太田道灌の孫。寿像。66.9 × 34.6cm。	比企郡川島町表 9	養竹院	平 11・3・19	埼玉指 第 453 号	J R 高崎線 桶川駅 (県立歴史と民俗の博物館に貸出)
34	紙本着色達磨図 信方印	1 面	桃山時代。近世初期洋風画の一例として貴重。左下隅に信方の落款。60.1 × 28.2cm。現在、額装。	比企郡川島町表 9	養竹院	平 11・3・19	埼玉指 第 454 号	J R 高崎線 桶川駅 (県立歴史と民俗の博物館に貸出)
35	絹本着色両界曼荼羅 付 旧箱書一枚	2 幅	箱書から寛正 6 年の作とわかる室町時代の基準作。金剛界曼荼羅 131.9 × 107.1cm、胎蔵界曼荼羅 132.2 × 106.7cm。	比企郡吉見町御所 146-1	息障院	平 15・3・18	埼玉指 第 482 号	東武東上線 東松山駅
36	絹本着色両界曼荼羅	2 幅	胎蔵界曼荼羅は、鎌倉時代末期で県内最古。金剛界曼荼羅も室町時代中期を下らない作品。胎蔵界：142.6 × 122.0cm。金剛界：141.3 × 122.8cm。	入間郡越生町越生 704	法恩寺	平 18・3・17	埼玉指 第 504 号	J R 八高線 東武越生線 越生駅 (県立歴史と民俗の博物館に寄託)
37	紙本着色鯉亀図 葛飾北斎筆	1 幅	文化 10 年、葛飾北斎 54 歳の作。横長の画面に、泳ぐ鯉 2 尾と亀 2 匹を立体感豊かに描く。26.8 × 91.8cm。	さいたま市大宮区高鼻町 4-219	埼玉県 (県立歴史と民俗の博物館)	平 20・3・14	埼玉指 第 514 号	東武野田線 大宮公園駅
38	紙本着色鳴鶏 小茂田青樹筆	2 曲 1 双	川越出身の日本画家小茂田青樹の昭和 5 年の作品。二曲一双。雄鶏が口を開けて鳴いた一瞬を描いたもので、凛とした古典的な格調の高い代表作。各 165.0 × 172.0cm。	さいたま市浦和区常盤 9-30-1	埼玉県 (県立近代美術館)	平 25・3・12	埼玉指 第 528 号	J R 京浜東北線 北浦和駅
39	絹本着色清拙正澄画像	1 幅	南北朝時代。曲糸倚坐全身像。上部欠失(賛なし)。開善寺(長野県飯田市)開山の頂相。97.2 × 48.0cm。	本庄市中央 2-8-26	開善寺	平 28・3・15	埼玉指 第 544 号	J R 高崎線 本庄駅
40	絹本着色釈迦十六善神像	1 幅	南北朝時代。釈迦如来を本尊として、般若経及びその持経者を守護する十六善神などを両側に配した仏画。107.0 × 53.5cm。	北足立郡伊奈町大字小室 4228-1	法光寺	平 31・2・22	埼玉指 第 563 号	埼玉新都市交通ニューシャトル 丸山駅 (県立歴史と民俗の博物館に貸出)

(3) 彫 刻

No.	名 称	員数	概 要	所在地	所有者 (管理者)	指定年月日	指定番号	最寄り駅 (備考)
1	菊水寺聖観音像	1 躯	平安時代末期。檜材の一木造、彫眼、内刳なし。宝冠をつける。像高 88.0cm の立像。	秩父市下吉田 桜井 1104	菊水寺	昭 29・3・4	埼玉指 第 8 号	秩父鉄道 皆野駅
2	真観寺聖観音像	1 躯	平安時代後期。檜材の寄木造、彫眼、漆箔。像高 103.0cm の立像。	行田市小見 1124	真観寺	昭 29・3・4	埼玉指 第 9 号	秩父鉄道 東行田駅
3	木造不動明王坐像	1 躯	鎌倉時代。檜材の寄木造、彫眼。像高 80.9cm。洗練された中央の作。	比企郡吉見町 御所 146-1	息障院	昭 29・10・23	埼玉指 第 22 号	東武東上線 東松山駅
4	鉄造阿弥陀三尊立像	3 躯	鎌倉時代末期。铸铁製。善光寺式三尊。像高中尊 47.6cm、両脇侍各 30.0cm。	飯能市虎秀 71	福德寺	昭 29・10・23	埼玉指 第 23 号	西武池袋線 東吾野駅
5	木造薬師如来坐像	1 躯	鎌倉時代初期。檜材の寄木造、玉眼、漆箔。慶派の仏師作と伝わる。像高 80.9cm。	坂戸市小山 259	三福寺	昭和 30・11・1	埼玉指 第 44 号	東武東上線 坂戸駅
6	銅造阿弥陀如来立像	1 躯	鎌倉時代中期。铸銅造。善光寺式三尊の中尊、両脇侍は欠失。像高 47.9cm。	羽生市下村君 2278	永明寺	昭 30・11・1	埼玉指 第 45 号	東武伊勢崎線 秩父鉄道 羽生駅 (県立歴史と 民俗の博物館 に寄託)
7	木造地藏菩薩立像	1 躯	平安時代後期。檜材の一木造、彫眼、素地仕上げ、内刳なし。在地仏師の作。像高 67.9cm。	さいたま市 浦和区仲町 2-13-22	玉蔵院	昭 31・11・1	埼玉指 第 77 号	JR京浜東北線 北浦和駅
8	木造大日如来坐像	1 躯	平安時代後期。檜材の寄木造、彫眼、彩色。金剛界大日。像高 93.9cm。	川口市上青木 2-18-30	安楽寺	昭 31・11・1	埼玉指 第 78 号	JR京浜東北線 西川口駅
9	木造天海僧正坐像	1 躯	江戸時代初期。檜材の寄木造、玉眼。胎内墨書銘「寛永廿癸未歳八月吉日 大仏師式部卿」、寿像。像高 69.1cm。	川越市小仙波 町 1-20-1	喜多院	昭 31・11・1	埼玉指 第 79 号	J R 川越線 東武東上線 川越駅、 西武池袋線 本川越駅
10	木造薬師如来坐像	1 躯	檜材の寄木造、玉眼、漆箔。胎内墨書銘「貞治六年」「武蔵国太田庄北方永明寺」云々。定朝様。像高 84.8cm。	羽生市下村君 2278	永明寺	昭 33・3・20	埼玉指 第 95 号	東武伊勢崎線 秩父鉄道 羽生駅 (県立歴史と 民俗の博物館 に寄託)
11	木造聖僧文殊坐像	1 躯	寄木造、木眼（修復仕様）。胎内墨書銘「永仁三年丙申十月仏師光慶」。像高 93.6cm。	比企郡ときが わ町西平 386	慈光寺	昭 33・3・20	埼玉指 第 96 号	J R 八高線 明覚駅
12	阿弥陀如来坐像 付 胎内仏・十字架	1 躯	江戸時代前期。寄木造、彫眼、漆箔。胎内にマリア観音像、銅造十字架を納入。像高 29.3cm。	川口市芝西 1-19-17	如意輪 観音堂	昭 34・3・20	埼玉指 第 116 号	JR京浜東北線 蕨駅 (県立歴史と 民俗の博物館 に寄託)

No.	名 称	員数	概 要	所在地	所有者 (管理者)	指定年月日	指定番号	最寄り駅 (備考)
13	木造阿弥陀如来坐像	1 躯	鎌倉時代末期。檜材の寄木造、玉眼、衣部漆箔。正慶元年大檀那沙門唯信の銘。像高 57.4cm。	行田市持田 5967	長福寺	昭 34・3・20	埼玉指 第 117 号	秩父鉄道 持田駅 (行田市郷土博物館に寄託)
14	木造阿弥陀如来立像	1 躯	鎌倉時代中期。寄木造、玉眼、漆箔。裸形像、中央仏師の作。像高 64.3cm。	白岡市白岡 961	興善寺	昭 35・3・1	埼玉指 第 135 号	J R 宇都宮線 白岡駅
15	金銅勢至菩薩立像	1 躯	鎌倉時代。鋳銅製。善光寺式三尊の脇侍。像高 29.6cm。	川口市舟戸町 1-29	善光寺	昭 36・3・1	埼玉指 第 148 号	J R 京浜東北線 川口駅
16	木造来迎阿弥陀如来立像	1 躯	鎌倉時代後期。寄木造、玉眼、漆箔。快慶の影響を受けた仏師の作。像高 51.3cm。	飯能市上名栗 3198	鳥居観音	昭 36・3・1	埼玉指 第 150 号	西武池袋線 飯能駅、 J R 八高線 東飯能駅
17	木造峻翁令山像	1 躯	室町時代。檜材の寄木造、玉眼、彩色。国済寺開山の頂相。像高 59.5cm。	深谷市国済寺 521	国済寺	昭 36・3・1	埼玉指 第 151 号	J R 高崎線 深谷駅
18	木造誕生釈迦仏立像	1 躯	鎌倉時代末期から室町初期。寄木造、玉眼、截金多用。像高 48.3cm。	秩父郡東秩父村御堂 362	浄蓮寺	昭 38・3・29	埼玉指 第 172 号	東武東上線 J R 八高線 小川町駅
19	木造金剛力士立像	2 躯	室町時代。檜材の寄木造、彫眼、彩色。像高阿形 187.7cm、吽形 187.0cm。	秩父郡小鹿野町小鹿野 1823	十輪寺	昭 38・3・29	埼玉指 第 173 号	秩父鉄道 秩父駅、 西武秩父線 西武秩父駅
20	木造如意輪観音半跏像	1 躯	応保 2 年銘。榧材の割矧造、彫眼。関東最古の在銘像。像高 81.0cm。	入間郡越生町如意 600	如意輪観世音檀徒	昭 39・3・27	埼玉指 第 176 号	J R 八高線 東武越生線 越生駅
21	木造阿弥陀如来立像	1 躯	檜材の寄木造、玉眼。来迎印。永仁元年、大勧進唯信の銘。像高 99.1cm。	加須市大門町 18-51	龍蔵寺	昭 39・3・27	埼玉指 第 182 号	東武伊勢崎線 加須駅
22	木造僧形八幡坐像 付 紙本墨書造像願文等 三十七点	1 躯	弘安 5 年。檜材の寄木造、玉眼、彩色。県内神像彫刻の秀作。像高 24cm。	川口市峯 1304	峯ヶ岡八幡神社	昭 39・3・27	埼玉指 第 183 号	J R 京浜東北線 川口駅 (付は県立歴史と民俗の博物館に寄託)
23	木造大日如来坐像	1 躯	平安時代後期。寄木造、彫眼、漆箔。胎藏界大日。像高 102.5cm。	さいたま市桜区西堀 2-6-17	医王寺	昭 39・3・27	埼玉指 第 184 号	J R 埼京線 中浦和駅
24	木造阿弥陀如来立像	1 躯	鎌倉時代後期。檜材の寄木造、玉眼。像高 83.2cm。	秩父市東町 17-19	惣円寺	昭 42・3・28	埼玉指 第 218 号	秩父鉄道 御花畑駅、 西武秩父線 西武秩父駅
25	木造阿弥陀如来坐像	1 躯	平安時代後期。檜材の寄木造、彫眼、漆箔。内刳、螺髪切付。定朝様を示す。像高 107cm。	北足立郡伊奈町大字小針新宿 463	西光寺	昭 47・3・28	埼玉指 第 250 号	埼玉新都市交通ニューシャトル 内宿駅
26	鉄造阿弥陀如来坐像	1 躯	鎌倉時代。鋳鉄製。鉄仏中の美作。像高 34.1cm。	比企郡ときがわ町西平 445	霊山院	昭 48・3・9	埼玉指 第 259 号	J R 八高線 明覚駅

No.	名 称	員数	概 要	所在地	所有者 (管理者)	指定年月日	指定番号	最寄り駅 (備考)
27	木造地藏菩薩坐像	1 軀	至徳3年銘。檜材の寄木造、玉眼、彩色。法衣垂下像。像高40.8cm。	飯能市坂石町分333-1	法光寺	昭49・5・28	埼玉指第270号	西武秩父線 吾野駅
28	木造地藏菩薩坐像	1 軀	南北朝時代。檜材の寄木造、玉眼、彩色。法衣垂下像。像高49.5cm。	さいたま市西区高木446	地藏堂 (個人管理)	昭50・3・31	埼玉指第275号	J R川越線 西大宮駅 (さいたま市立博物館に寄託)
29	木造薬師如来坐像	1 軀	鎌倉時代初期。寄木造、彫眼、漆箔。剛健質朴な在地仏師の作。像高137.7cm。	川越市古谷本郷1383	灌頂院	昭52・3・29	埼玉指第289号	J R川越線 南古谷駅
30	木造釈迦如来坐像	1 軀	平安時代後期。櫟材の一木造、彫眼、漆箔。内刳、螺髪切付。像高87.2cm。	久喜市鷲宮3-6-1	霊樹寺	昭53・3・28	埼玉指第295号	東武伊勢崎線 鷲宮駅
31	木造阿弥陀如来坐像	1 軀	鎌倉時代。檜材の寄木造、玉眼、漆箔、螺髪切付。慶派の作風を示す。像高87.0cm。	入間郡毛呂山町滝ノ入117	高福寺	昭53・3・28	埼玉指第296号	東武越生線 東毛呂駅
32	木造宝冠阿弥陀如来坐像	1 軀	鎌倉時代。檜材の寄木造、玉眼、漆箔。宝冠・宝髻を欠失。慶派仏師の作。像高56.5cm。	比企郡ときがわ町西平386	慈光寺	昭55・3・29	埼玉指第304号	J R八高線 明覚駅
33	木造不動明王立像	1 軀	鎌倉時代前期。檜材の寄木造、玉眼、古色。清新で動感あふれる慶派仏師の作。像高53.0cm。	川口市桜町5-5-39	地藏院	昭55・3・29	埼玉指第305号	J R京浜東北線 西川口駅、 埼玉高速鉄道 新井宿駅 (奈良国立博物館に寄託)
34	木造伝正観音菩薩坐像	1 軀	寄木造、金泥。背板部に嘉元2年の墨書銘、膝裏部に戯画。像高84.0cm。	越谷市増林3818	林泉寺	昭56・3・27	埼玉指第310号	東武伊勢崎線 越谷駅
35	観音菩薩及び勢至菩薩立像	2 軀	鎌倉時代前期。檜材の割刳造、彫眼、漆箔。定朝様の流れをくむ作風。像高観音105.8cm、勢至105.6cm。重要文化財・阿弥陀如来坐像の両脇侍。	比企郡滑川町和泉1681	泉福寺	昭57・3・23	埼玉指第312号	J R高崎線 秩父鉄道 熊谷駅
36	木造阿弥陀如来坐像 木造聖観音菩薩立像	2 軀	鎌倉時代中期。ともに檜材の寄木造、玉眼、漆箔。慶派正系の作、もと三尊像か。像高阿弥陀86.6cm、観音107.6cm。	秩父郡小鹿野町河原沢442	真福寺	昭59・3・27	埼玉指第322号	秩父鉄道 秩父駅、 西武秩父線 西武秩父駅
37	木造阿弥陀三尊像	3 軀	鎌倉時代。檜材の寄木造、玉眼、肉身部金泥。定朝様を示す。像高阿弥陀86.0cm、観音99.0cm、勢至101.5cm。	本庄市児玉町児玉100	実相寺	昭59・3・27	埼玉指第323号	J R八高線 児玉駅
38	木造千手観音立像	1 軀	室町時代。檜材の寄木造、彫眼。頭部に天文18年の墨書銘。体部は享和2年再興。坂東札所9番観音堂の本尊。像高265.0cm。	比企郡ときがわ町西平379	慈光寺	昭60・3・5	埼玉指第328号	J R八高線 明覚駅

No.	名 称	員数	概 要	所在地	所有者 (管理者)	指定年月日	指定番号	最寄り駅 (備考)
39	木造伝釈迦如来坐像	1 軀	平安時代。榿材の一木造、彫眼。平安初期一木彫刻の伝統を伝える。像高 74.4cm。	入間郡毛呂山町滝ノ入 814	桂木寺	昭 60・3・5	埼玉指 第 329 号	東武越生線 武州長瀬駅 (毛呂山町歴史民俗資料館に寄託)
40	木造阿弥陀如来坐像	1 軀	鎌倉時代初期。寄木造、玉眼、衣部漆箔。定朝様の特色をよく伝える。像高 88.0cm。	さいたま市浦和区北浦和 3-15-22	廓信寺	昭 61・3・22	埼玉指 第 332 号	J R 京浜東北線 北浦和駅
41	木造安達藤九郎盛長坐像	1 軀	南北朝時代。寄木造、玉眼、彩色。中世肖像彫刻の県内数少ない遺例。像高 75.7cm。	鴻巣市糠田 1435	放光寺	平 1・3・17	埼玉指 第 360 号	J R 高崎線 鴻巣駅
42	木造薬師如来立像	1 軀	平安時代。檜材の一木造。頭部、胸部、背面、両腕の臂より先を欠失。平成 4～6 年修理。現状像高 138.6cm。	入間郡越生町黒山 49	黒山区 (越生町)	平 3・12・6	埼玉指 第 377 号	J R 八高線 東武越生線 越生駅 (県立歴史と民俗の博物館に寄託)
43	木造薬師如来坐像	1 軀	平安時代後期。一木造、彫眼、内刻なし。像高 69.8cm。	飯能市高山 346	常楽院	平 6・3・16	埼玉指 第 405 号	西武秩父線 西吾野駅
44	木造聖観音坐像 付 胎内納入品 四点	1 軀	南北朝時代。檜材寄木造、玉眼、漆箔。像高 58.2cm。法衣垂下像。	飯能市白子 260	長念寺	平 6・3・16	埼玉指 第 406 号	西武池袋線 武蔵横手駅
45	円空作木造薬師如来立像	1 軀	江戸時代前期。檜材一木造。像高 57.5cm。丸材を 2 つに割り、頭部、肩、胸部、足元を比較的浅く切り込む。	さいたま市見沼区南中野 451	正法院	平 6・3・16	埼玉指 第 407 号	東武野田線 大和田駅 (県立歴史と民俗の博物館に貸出)
46	円空作木造十二神将立像	12 軀	江戸時代前期。檜材一木造。頭部に十二支を表す動物の形をいただき、背面にその名を墨書する。	さいたま市見沼区南中野 451	正法院	平 6・3・16	埼玉指 第 408 号	東武野田線 大和田駅 (県立歴史と民俗の博物館に貸出)
47	円空作木造千手観音立像	1 軀	江戸時代前期。像高 243.0cm。頭頂に十一面を刻み、上半身は杉材、下半身は樺の白を 2 つに割って縦に重ねる。県内最大の円空仏。	八潮市八條 3877	大経寺	平 6・3・16	埼玉指 第 409 号	東武伊勢崎線 草加駅 つくばエクスプレス 八潮駅
48	木造他阿真教上人坐像	1 軀	南北朝時代。寄木造、玉眼、彩色。像高 83.7cm。他阿真教上人は、時宗第二祖で法台寺開山。	新座市道場 1-10-13	法台寺	平 9・3・18	埼玉指 第 438 号	東武東上線 朝霞台駅
49	矢島家 円空仏群	18 軀	江戸時代前期。旧本山修験南学院に伝来。秋葉大権現及び両脇侍像、十一面観音菩薩立像、役行者倚像、善女竜王立像、金剛童子立像、制吒迦童子・矜羯羅童子立像、稲荷神立像、愛宕大権現立像、恵比須・大黒立像、毘沙門天立像、観音菩薩立像、護法神像（三軀）。像高 4.9～77.0cm。	蓮田市	個人	平 10・3・17	埼玉指 第 443 号	(県立歴史と民俗の博物館及び蓮田市文化財展示館に貸出)

No.	名 称	員数	概 要	所在地	所有者 (管理者)	指定年月日	指定番号	最寄り駅 (備考)
50	木造十二神将立像 木造日光菩薩・月光菩薩立像	12 軀 2 軀	天正 13 ～ 14 年。寄木造、玉眼、彩色。鉢形城主北条氏邦とその家臣らが檀那となり造立。像高 90cm 前後。	秩父郡小鹿野町	法養寺薬師堂 奉賛会	平 11・3・19	埼玉指 第 455 号	秩父鉄道 三峰口駅、 西武秩父線 西武秩父駅
51	木造五大明王像	5 軀	平安時代末期。割矧造、彫眼。藤原彫刻の伝統をひく平安時代末期の地方仏師の作。像高、不動 89.3cm、軍荼利 103.2cm、大威徳 96.8cm、金剛夜叉 105.8cm、降三世 100.3cm。	入間郡越生町 黒岩 303-2	黒岩区	平 12・3・17	埼玉指 第 464 号	J R 八高線 東武越生線 越生駅 (県立歴史と 民俗の博物館 に寄託)
52	木造阿弥陀如来坐像	1 軀	榧材、寄木造、彫眼、漆箔。県内を代表する鎌倉時代初頭の仏像のひとつ。胎内に「貞和 3 年 大旦那沙弥妙賢 平清胤」等の墨書修理銘。像高 107.6cm。	比企郡とき がわ町玉川 4031	龍福寺	平 13・3・16	埼玉指 第 471 号	J R 八高線 明覚駅
53	小淵観音院 円空仏群	7 軀	江戸時代前期の遊行僧円空の作品。旧本山派修験観音院に伝来。聖観音菩薩立像、不動明王立像、毘沙門天立像、蔵王権現立像、役行者倚像、夜叉明神像、護法大善神像。像高 28.8 ～ 194.0cm。	春日部市小淵 1638	観音院	平 14・3・22	埼玉指 第 477 号	東武伊勢崎線 北春日部駅 (県立歴史と 民俗の博物館 に寄託)
54	銅造伝薬師如来立像	1 軀	鎌倉時代後期。鋳銅製で前後の合わせ型による鑄像。この時期の金銅仏は全体的に小作りが多い中で、94.0cm の像高をもつ。両手先欠失。	行田市真名板 1532-2	真名板薬師堂 文化財保存会	平 17・3・22	埼玉指 第 498 号	J R 高崎線 鴻巣駅
55	銅造誕生釈迦仏立像	1 軀	平安時代。鋳銅製で前後合わせ型。鍍金なし。例外的に左手を挙げた珍しい誕生仏であり、県内最古。総高 15.6cm、像高 11.0cm。	東松山市下野 本 662	無量寿寺	平 19・3・16	埼玉指 第 509 号	東武東上線 東松山駅
56	木造虚空蔵菩薩坐像	1 軀	14 世紀後半の法衣垂下像。寄木造、玉眼嵌入、胡粉下地・弁柄漆地に金泥彩、白毫に水晶を嵌入。総高 64.2cm、像高 46.3cm。全身の彩色、像底部矧目の布貼り、持物の宝珠、光背、台座、宝冠及び装飾は、後補。	飯能市川寺 43-1	大光寺	平 27・3・13	埼玉指 第 537 号	西武池袋線 飯能駅、 J R 八高線 東飯能駅
57	木造大日如来坐像	1 軀	平安時代後期の胎藏界大日如来像。檜材の寄木造で、彫眼、肉身部は弁柄漆地に金泥彩、着衣部は黒漆地に漆箔とし、各種の截金文を施す。白毫珠は水晶嵌入。像底地付部から像内立ち上がりにかけては、布貼り錆漆仕上げとする。像高 93.8cm。	深谷市横瀬 1360	華蔵寺	平 29・3・24	埼玉指 第 551 号	J R 高崎線 岡部駅

No.	名 称	員数	概 要	所在地	所有者 (管理者)	指定年月日	指定番号	最寄り駅 (備考)
58	木造飛天像	1 軀	平安時代初期。一木造。漆箔。像高 29.3cm。福島県河沼郡湯川村の勝常寺に所在する木造薬師如来坐像（国宝）光背の飛天像と酷似し、本来は同像と一具のものであった可能性が高い。	秩父市中町 25-12	札所十四番 護持会	令 5・3・17	埼玉指 第 575 号	秩父鉄道御 花畑駅、 西武秩父線 西武秩父駅
59	木造釈迦如来坐像	1 軀	鎌倉時代初期、寄木造。肉身漆箔、着衣彩色。玉眼。像高 112.2cm。	美里町大字甘 粕 394	多宝寺	令 5・3・17	埼玉指 第 576 号	JR 八高線松 久駅
60	木造阿弥陀如来立像 附 光背	1 軀	13 世紀前半。一木割矧造、玉眼、漆箔。像高 69.0cm。快慶もしくは快慶周辺の仏師による制作と考えられる。	熊谷市桜木町 2-33-2	東善寺	令 6・3・15	埼玉指 第 580 号	JR 高崎線 秩父鉄道 熊谷駅 (熊谷市立熊谷 図書館に寄託)

(4) 工芸品

No.	名 称	員数	概 要	所在地	所有者 (管理者)	指定年月日	指定 番号	最寄り駅 (備考)
1	聖天院応仁鰐口	1 口	応仁2年。大工洪江満五郎作。径 21.1cm。「武州崎西郡鬼窪郷佐那賀谷村」等の刻銘。	日高市新堀 990-1	聖天院	昭 29・3・4	埼玉指 第 11 号	西武池袋線 高麗駅、 J R 川越線 八高線 高麗川駅
2	太刀 無銘 (伝一文字)	1 口	鎌倉時代中期。無銘。長さ 71.1cm、反り 2.6cm。備前福岡一文字派最盛期の作。古伝「吉平」。	行田市	個人	昭 29・3・4	埼玉指 第 13 号	(行田市郷土博物館に寄託)
3	太刀 銘「守家」	1 口	鎌倉時代中期。銘「守家」。長さ 69.2cm、反り 1.7cm。守家は備前国畠田の刀工。	美里町	個人	昭 29・3・4	埼玉指 第 16 号	
4	さわりの壺	1 口	高さ 17.5cm。大正 12 年、八幡神社玉垣の神門下から出土、中に少量の靱と金銀の箔。さわりは錫と銅の合金。	狭山市入間川 3-6-14	八幡神社	昭 29・10・23	埼玉指 第 26 号	西武新宿線 狭山市駅
5	刀 銘「繁慶」	1 口	桃山時代。銘「繁慶」。長さ 68.9cm、反り 1.4cm。繁慶はもと鉄砲鍛冶の野田清堯。	入間市	個人	昭 29・10・23	埼玉指 第 30 号	
6	銅造クジャク文磬	1 口	鎌倉時代。蓮華文の撞座を挟んで孔雀文を陽鑄。裾張最大 16.2cm。「日興」「上青木」「正応四」等の銘は追刻か。	川口市上青木 2-31-8	宗信寺	昭 30・11・1	埼玉指 第 47 号	J R 京浜東北線 西川口駅
7	銅製双鶴蓬萊文鏡	1 面	鎌倉時代末期。直径 19.5cm。鈕は亀甲。上方 2 ヶ所に穴。	久喜市鷲宮 1-6-1	鷲宮神社	昭 31・11・1	埼玉指 第 80 号	東武伊勢崎線 鷲宮駅 (久喜市立郷土資料館に寄託)
8	銅鐘	1 口	寛永 18 年。総高 120.3cm、口径 66.5cm。川口の名主宇田川氏が、鋳物師長瀬守久に造らせたもの。	川口市本町 2-4-37	錫杖寺	昭 33・3・20	埼玉指 第 98 号	J R 京浜東北線 川口駅
9	経箱	1 合	鎌倉時代。外面黒漆、内面朱漆塗、螺鈿を施す。33 × 20 × 16cm。国宝の法華経を納入と伝える。	比企郡ときがわ町西平 386	慈光寺	昭 34・3・20	埼玉指 第 118 号	J R 八高線 明覚駅
10	紵糸斗帳	1 枚	中国明時代。濃紺地に紅糸で鴛鴦と雲の連続文。墨書銘あり。147.0 × 170.0cm。	熊谷市妻沼 1627	歓喜院	昭 34・3・20	埼玉指 第 119 号	J R 高崎線 秩父鉄道 熊谷駅 (県立歴史と民俗の博物館に寄託)
11	太刀 銘「長光」	1 口	鎌倉時代後期。銘「長光」。長さ 71.9cm、反り 2.2cm。長光は備前長船派二代。伝信州真田家伝来。	川口市	個人	昭 35・3・1	埼玉指 第 136 号	

No.	名 称	員数	概 要	所在地	所有者 (管理者)	指定年月日	指定 番号	最寄り駅 (備考)
12	刀 銘 表 日州古屋之住実忠作 裏 永禄十二年五月五日	1 口	永禄 12 年。長さ 70.8cm、反り 1.3cm。銘「日州古屋之住実忠作」等。実忠の作は希少。	飯能市	個人	昭 35・3・1	埼玉指 第 137 号	西武池袋線 飯能駅、 J R 八高線 東飯能駅 (飯能市立博物館に寄託)
13	銅懸仏	1 面	長享 2 年。鏡面二重縁、如来合掌形坐像浮彫。径 22.2cm、像高 8.4cm。金屋鋳物師中林家次作。	さいたま市大宮区高鼻町 4-219	埼玉県 (県立歴史と民俗の博物館)	昭 36・3・1	埼玉指 第 152 号	東武野田線 大宮公園駅
14	鰐口	1 口	暦応 2 年。径 31.0cm。銘「武州福河庄聖天堂常住也」「大檀那当庄住人沙弥来阿」等。	熊谷市妻沼 1627	歓喜院	昭 36・3・1	埼玉指 第 153 号	J R 高崎線 秩父鉄道 熊谷駅 (県立歴史と民俗の博物館に寄託)
15	螺鈿鞍	1 背	鞍骨に寛永 9 年墨書銘。櫛材黒漆塗、螺鈿鶴丸紋所、丸にかたばみの紋所散らし。儀式用。	さいたま市岩槻区宮町 2-6-55	久伊豆神社	昭 37・3・10	埼玉指 第 164 号	東武野田線 東岩槻駅 (県立歴史と民俗の博物館に貸出)
16	石燈籠	1 基	室町時代。花崗岩製、般若寺型。高さ 1.7m。	さいたま市大宮区高鼻町 4-219	埼玉県 (県立歴史と民俗の博物館)	昭 37・3・10	埼玉指 第 165 号	東武野田線 大宮公園駅
17	太刀 (安家作)	1 口	正和年間。長さ 96.1cm。銘「備前国住安家作」等。号「寒念仏」。熊谷の旧本陣竹井家に伝来。	熊谷市	個人	昭 39・3・27	埼玉指 第 177 号	(県立歴史と民俗の博物館に寄託)
18	銅製桐文方鏡 付 沈金彫桐文笥一合	1 面	室町時代末期。方形の白銅鏡、鏡背全面に桐文を鋳出。23.0 × 18.0cm。箱も完備。	久喜市鷲宮 1-6-1	鷲宮神社	昭 39・3・27	埼玉指 第 185 号	東武伊勢崎線 鷲宮駅 (久喜市立郷土資料館に寄託)
19	銅製御正体	2 面	文安 2 年及び長禄 2 年銘。円鏡形、両肩に鐙。	久喜市鷲宮 1-6-1	鷲宮神社	昭 39・3・27	埼玉指 第 186 号	東武伊勢崎線 鷲宮駅 (久喜市立郷土資料館に寄託)
20	銅製蓬萊文鏡	1 面	室町時代。背面に蓬萊山を鋳出。直径 22.0cm。	久喜市鷲宮 1-6-1	鷲宮神社	昭 39・3・27	埼玉指 第 187 号	東武伊勢崎線 鷲宮駅 (久喜市立郷土資料館に寄託)
21	銅鐘	1 口	南北朝時代。総高 111.0cm、口径 59.5cm。鐘身は細身で端正。	戸田市美女木 7-9-1	美女木八幡社	昭 39・3・27	埼玉指 第 188 号	J R 埼京線 北戸田駅 (戸田市立郷土博物館へ貸出)
22	銅鐘	1 口	元禄 9 年。総高 190cm、口径 101cm。江戸の鋳物師椎名伊予良寛の作。三富新田開拓ゆかりの鐘。	入間郡三芳町上富 1542	多福寺	昭 39・3・27	埼玉指 第 189 号	西武新宿線 所沢駅、 東武東上線 鶴瀬駅

No.	名 称	員数	概 要	所在地	所有者 (管理者)	指定年月日	指定 番号	最寄り駅 (備考)
23	銅鐘	1 口	宝永 2 年。佐野天明の鋳物師藤原金氏作。秩父妙見宮へ奉納されたものを享保 6 年に源蔵寺へ移す。総高 138.5cm、口径 78.2cm。	秩父市大野原 936	源蔵寺	昭 39・3・27	埼玉指 第 190 号	秩父鉄道 大野原駅
24	銅鐘	1 口	宝暦 8 年。比企郡上小用村の清水武左衛門清長作。札所本尊と御詠歌を鐘の周囲に鋳出。総高 137.8cm、口径 77.2cm。	秩父市桜木町 21-3	定林寺	昭 39・3・27	埼玉指 第 191 号	秩父鉄道 秩父駅
25	銅鐘	1 口	正慶 2 年。文明 11 年、同 13 年の追銘。戦国期に 2 回の移動を示す。総高 99.5cm、口径 52.0cm。	秩父郡東秩父村御堂 362	浄蓮寺	昭 39・3・27	埼玉指 第 192 号	東武東上線 J R 八高線 小川町駅
26	銅鐘	1 口	宝永 8 年。金屋の鋳物師倉林太左衛門金貞作。総高 136cm、口径 76cm。	本庄市児玉町金屋 142-1	天龍寺	昭 39・3・29	埼玉指 第 193 号	J R 八高線 児玉駅
27	銅鐘	1 口	元禄 8 年。佐野天明の鋳物師井上元峰作。縦帯中央に仏像を陽鋳。総高 190cm、口径 98.3cm。	児玉郡上里町金久保 701	陽雲寺	昭 39・3・27	埼玉指 第 194 号	J R 高崎線 神保原駅
28	拵え付太刀 長吉作	1 口	至徳 4 年。長さ 71.4cm。備前長船派の刀工長吉作。川越城主が三芳野神社へ寄進。	川越市郭町 2-25-11	三芳野神社	昭 39・11・17	埼玉指 第 196 号	J R 川越線 東武東上線 川越駅、 西武池袋線 本川越駅 (川越市立博物館に寄託)
29	刀	1 口	鎌倉時代末期。長さ 68.4cm。備前長船派の兼光初期の代表作。「兼光(花押)」「寛永」の金粉銘。	深谷市	個人	昭 46・3・31	埼玉指 第 239 号	(県立歴史と 民俗の博物館 に寄託)
30	氷川女體神社神輿	1 基	桃山時代末期。黒漆塗、檜材、和様を基調、総高 106.5cm。「御船祭」に使用と伝えられる。	さいたま市緑区宮本 2-1-17	氷川女體神社	昭 47・3・28	埼玉指 第 251 号	J R 武蔵野線 東浦和駅
31	三鱗文兵庫鎖太刀	1 口	鎌倉時代。金銅太刀拵。帯袷に三筋の兵庫鎖、拵に三鱗文を彫す。伝北条泰時奉納。	さいたま市緑区宮本 2-1-17	氷川女體神社	昭 47・3・28	埼玉指 第 252 号	J R 武蔵野線 東浦和駅
32	椿文鎌倉彫笈	1 背	室町時代。檜材、前面に椿文、立ぬきに菊花文、鎌倉彫の箱笈。総高 87.5cm。	さいたま市	個人	昭 47・3・28	埼玉指 第 253 号	(県立歴史と 民俗の博物館 に貸出)
33	牡丹文瓶子	2 口	室町時代の古瀬戸とされてきたが、製法や胎土に中国産の特徴が見られる。高さ 32.5cm と 31.4cm。「御船祭」に使用。	さいたま市緑区宮本 2-1-17	氷川女體神社	昭 48・3・9	埼玉指 第 260 号	J R 武蔵野線 東浦和駅 (東京国立博物館に寄託)
34	龍穩寺銅鐘	1 口	寛文 12 年堀山城守清光作、全高 166.7cm、口径 78.0cm。朝鮮様式を模す。	入間郡越生町龍ヶ谷 452	龍穩寺	昭 48・3・9	埼玉指 第 261 号	J R 八高線 東武越生線 越生駅

No.	名 称	員数	概 要	所在地	所有者 (管理者)	指定年月日	指定 番号	最寄り駅 (備考)
35	銅製鍍金八角釣燈籠	1 基	総高 38.0cm、火袋に「熊野山新宮 神之蔵 本願龍蔵坊 針井長吉 永禄十年丁卯八月日」銘。	さいたま市	個人	昭 53・3・28	埼玉指 第 297 号	(さいたま市立浦和博物館に寄託)
36	縹糸威最上胴丸具足	1 領	室町時代。装飾を排した実戦用。久喜市甘棠院伝来。	さいたま市大宮区高鼻町 4-219	埼玉県 (県立歴史と民俗の博物館)	昭 57・11・30	埼玉指 第 314 号	東武野田線 大宮公園駅
37	源氏車紋鞍 付 障泥一對 鐙一對 轡一口	1 背	居木に「天正三年」の墨書。桐材、黒漆塗。実戦用。鐙は鉄製、黒漆塗。久喜市甘棠院伝来。	さいたま市大宮区高鼻町 4-219	埼玉県 (県立歴史と民俗の博物館)	昭 57・11・30	埼玉指 第 315 号	東武野田線 大宮公園駅
38	武州河越住新儀惣兵衛允則重作 太刀	1 口	寛永 17 年 12 月、川越藩士増井但久が地元の刀工則重に鍛えさせた奉納太刀、鎗造、庵棟。長さ 87.8cm。	川越市郭町 2-25-11	三芳野神社	昭 59・3・27	埼玉指 第 324 号	J R 川越線 東武東上線 川越駅、 西武池袋線 本川越駅 (川越市立博物館に寄託)
39	藤枝太郎英義作 刀	1 口	慶応 2 年 8 月銘、川越藩工の英義の会心作。鎗造、庵棟。長さ 84.0cm。	さいたま市大宮区高鼻町 4-219	埼玉県 (県立歴史と民俗の博物館)	昭 63・2・26	埼玉指 第 344 号	東武野田線 大宮公園駅
40	道憲作十文字槍	1 口	室町時代。道憲作。伝古河公方足利政氏所持、久喜市甘棠院伝来、穂の長さ 29.6cm、横幅 23.3cm。	さいたま市大宮区高鼻町 4-219	埼玉県 (県立歴史と民俗の博物館)	昭 63・2・26	埼玉指 第 345 号	東武野田線 大宮公園駅
41	銅造阿弥陀三尊懸仏	1 面	鎌倉時代後期。直径 77.4cm。円型鏡板中央に阿弥陀如来、左右に勢至菩薩、十一面観音を配す。	川越市古谷本郷 1408-1	古尾谷八幡神社	昭 63・2・26	埼玉指 第 346 号	J R 川越線 南古谷駅 (川越市立博物館に寄託)
42	銅製秋草双雀鏡	1 面	背面に秋草と 2 羽の雀を鑄出、直径 19.0cm。鏡面に「奉納神器(中略)建武式歳舍乙亥春三月十五日」の銘。	川口市芝 5379-1	羽盡神社	平 1・3・17	埼玉指 第 361 号	J R 京浜東北線 蕨駅
43	白鬚神社御正体	4 面	南北朝時代。鑄銅製、東国鑄物師の作と考えられる。寄進者と紀年銘を有する。	飯能市唐竹 8	白鬚神社	平 5・3・10	埼玉指 第 394 号	西武池袋線 飯能駅、 J R 八高線 東飯能駅
44	永楽通宝紋鞍 付 鐙一双	1 背	黒漆塗り、前輪と後輪に永楽通宝紋の蒔絵、居木に永正 2 年の年紀と花押を陰刻。後輪の切組に墨書の花押。鐙には真鍮象嵌。	上尾市原市 975	妙厳寺	平 10・3・17	埼玉指 第 444 号	埼玉新都市 交通ニュー シャトル 原市駅
45	雲版	1 面	応安 4 年銘。「武州入西浅羽圓接禪寺」「大工金刺重弘」等の銘文あり。昭和 8 年に出土。県内では数少ない中世の雲版。	比企郡鳩山町赤沼 24-1	圓正寺	平 12・3・17	埼玉指 第 465 号	東武東上線 坂戸駅 (県立歴史と民俗の博物館に貸出)

No.	名 称	員数	概 要	所在地	所有者 (管理者)	指定年月日	指定 番号	最寄り駅 (備考)
46	三嶋神社鰐口	1 口	「応永二年乙亥三月廿七」「武蔵国男衾郡塚田宿三嶋宮鰐口」の刻銘あり。縁起では、秩父荒川村の土中から発見され、刻字の内容から塚田の庄屋を経て納められたとされる。塚田道禅作と推定され、室町時代前期の塚田宿の繁栄と塚田鋳物師の活躍をうかがわせる。径19.9cm、厚さ3.8cm。	大里郡寄居町 赤浜 1973	三嶋神社	平 16・3・23	埼玉指 第 494 号	東武東上線 男衾駅
47	吉定寺銅鐘	1 口	もと鉢形城の陣鐘で、落城の際に城の内堀（御手洗池）へ投げ込まれたものを文禄2年に引き上げ、吉定寺にかけたと伝えられる。一時、坂戸の西光寺に移され、安永5年に買い戻された。総高127.0cm、口径72.5cm。比較的古格を保つ剛健なつくり。	大里郡寄居町 立原 505	吉定寺	平 16・3・23	埼玉指 第 495 号	J R 八高線 折原駅
48	三十二間筋兜	1 頭	室町時代。総高17.2cm。三十番神と鬼子母神、十羅刹女の神号を各行毎に銀と真鍮で象嵌する。鉢形城主北条氏邦所用と伝える。	秩父市下吉田 7377	椋神社	平 19・3・16	埼玉指 第 510 号	秩父鉄道 皆野駅、 西武秩父線 西武秩父駅 (県立歴史と 民俗の博物館 に寄託)
49	金銅装説相箱及び 戒体箱	4 点	15世紀。当住頼曇の文明16年銘説相箱2口、当住栄曇銘説相箱1口、頼曇の文明18年銘戒体箱1合。いずれも木箱で、外側に金銅製の板及び彫金金具による装飾を施す。	入間郡越生町 越生 704	法恩寺	平 28・3・15	埼玉指 第 545 号	J R 八高線 東武越生線 越生駅 (県立歴史と 民俗の博物館 に寄託)
50	黒地小花模様小紋帷子	1 領	江戸時代初期。身丈136.0cm。天台宗寺院喜多院に伝来した小紋染の帷子。麻地の一枚仕立て、三つ葉葵の五つ紋付。模様は小紋染。染色技法は型染が採られている。	川越市小仙波 町 1-20-1	喜多院	平 30・2・27	埼玉指 第 558 号	J R 川越線 東武東上線 川越駅、 西武池袋線 本川越駅
51	白綾地松竹鶴亀宝尽 模様産衣	1 領	江戸時代前期。身丈117.4cm。天台宗寺院喜多院に伝来した産衣。浮織の単衣仕立てで、三つ葉葵の五つ紋付。織模様は宝尽模様と若松、竹などが軽快に散らされている。葵紋の下には吉祥模様が刺繍で表されている。	川越市小仙波 町 1-20-1	喜多院	平 30・2・27	埼玉指 第 559 号	J R 川越線 東武東上線 川越駅、 西武池袋線 本川越駅
52	刺繍三十番神像	1 幅	江戸時代前期。玉敷神社に伝来した、三十番神を刺繍で表した神像図。縦188.5cm、横100.0cmで、掛幅装に表装されている。基壇の上に立つ三十番神が重なるように配置された群像表現を採用している。	加須市騎西 552-1	玉敷神社	平 31・2・22	埼玉指 第 564 号	東武伊勢崎線 加須駅

(5) 書跡・典籍・古文書

No.	名 称	員数	概 要	所在地	所有者 (管理者)	指定年月日	指定 番号	最寄り駅 (備考)
1	日蓮上人墨蹟及び日向記	一括	紙本墨書。子安大本尊（日蓮宗宗宝）、日向記（弘安元年3月～5月）、消息断片。	戸田市新曽2438	妙顕寺	昭29・3・4	埼玉指 第10号	J R埼京線 戸田駅
2	寒松日記及び寒松稿	75枚	江戸時代初期。長徳寺中興開山龍派禅珠（寒松）の日記。寒松稿は慶長6～寛永10年の詩文集。	川口市芝6303	長徳寺	昭30・11・1	埼玉指 第52号	J R京浜東北線 蕨駅 （県立歴史と民俗の博物館に貸出）
3	武蔵志及び贍民録版本	17冊	武蔵志は、江戸後期大間村名主福島東雄著の地誌。贍民録は、天保8年農民救荒食糧の教え。	鴻巣市	個人	昭30・11・1	埼玉指 第53号	
4	龍泉寺本訪貳録	2冊	天保年間。渡辺華山の貳尻（三ヶ尻）調査録写本。実弟如山筆。絵は如山の弟子山本梧庵。	熊谷市三ヶ尻3712	龍泉寺	昭30・11・1	埼玉指 第54号	秩父鉄道 大麻生駅
5	忍藩割役名主御公用日記	130冊	宝永5年から幕末に至る160年間のもの。松本家、高野家のものが大部分を占める。	秩父市上町3-6-27	秩父市 (秩父市立図書館)	昭31・11・1	埼玉指 第81号	秩父鉄道 御花畑駅、 西武秩父線 西武秩父駅
6	北潜日抄	1冊	慶応4年。日向飢肥藩出身の儒者安井息軒が避難先の足立郡領家村（川口市）に滞在した際の日記。	川口市	個人	昭31・11・1	埼玉指 第82号	
7	児玉南柯日記及び関係書籍	53冊 60点	安永9年～文政8年の日記と著作物。南柯は岩槻藩校遷喬館の創設者。	さいたま市 浦和区常盤6-4-4	さいたま市	昭31・11・1	埼玉指 第83号	J R浦和駅 （県立文書館に寄託）
8	中山信吉木碑	1基	寛永21年。徳川頼房の養育にあたった中山信吉（寛永19年没）の木碑。信吉の子、信正の依頼で林道春（羅山）が撰文。櫟材、高さ151cm。	飯能市中山520	智観寺	昭33・3・20	埼玉指 第99号	西武池袋線 飯能駅、 J R八高線 東飯能駅
9	川俣関所関係文書 付 関所関係用具	一括	日光脇往還利根川渡河点の川俣関所番士の文書及び関係用具。	羽生市	個人	昭33・3・20	埼玉指 第100号	（県立歴史と民俗の博物館に一部寄託）
10	長享二年秩父札所番付	1巻	室町時代。秩父札所1番から33番までの寺名と本尊名を記したもの。	秩父郡小鹿野町般若2661	法性寺	昭34・3・20	埼玉指 第120号	秩父鉄道 秩父駅
11	篠井家文書	16点	戦国～江戸時代初期。本山派修験観音堂関係の文書。聖護院門跡御教書他。	狭山市	個人	昭34・3・20	埼玉指 第121号	
12	持田家文書	22通 4冊	室町～江戸時代初期。鉢形城主北条氏邦印判状他22通及び文禄検地帳4冊。	深谷市	個人	昭34・3・20	埼玉指 第122号	（県立文書館に寄託）
13	寛永の五人組帳	1冊	寛永20年。秩父郡品沢村（現秩父市）のもの。前書と38条の条文。	秩父市上町3-6-27	秩父市 (秩父市立図書館)	昭37・3・10	埼玉指 第162号	秩父鉄道 御花畑駅、 西武秩父線 西武秩父駅

No.	名 称	員数	概 要	所在地	所有者 (管理者)	指定年月日	指定 番号	最寄り駅 (備考)
14	町田家文書	14 通	南北朝時代。丹党の高麗氏関係の中世文書。高麗季澄の着到状ほか。	日高市	個人	昭 37・3・10	埼玉指 第 163 号	
15	鷲宮神社文書 付 棟札一枚 文書三点	23 点	室町～戦国時代。古河公方足利氏(12点)、小田原北条氏(9点)、岩付太田氏(2点)が鷲宮神社宛に出した中世文書。	久喜市鷲宮 1-6-1	鷲宮神社	昭 39・3・27 (追加指定) 昭 56・3・27	埼玉指 第 178 号	東武伊勢崎線 鷲宮駅 (久喜市立郷土 資料館に寄託)
16	法華寺文書	9 点	南北朝～江戸時代初期。後醍醐天皇を始め足利尊氏、岩付太田氏等の法華寺宛の文書。	さいたま市 岩槻区飯塚 1361	法華寺	昭 41・3・8	埼玉指 第 213 号	東武野田線 岩槻駅 (県立文書館 に寄託)
17	小谷三志関係資料	文書 記録 171 点 遺品 27 点	江戸時代後期。小谷三志は富士講第八代の大導師。三志自筆の日記や教義書等富士講の重要資料。	川口市鳩ヶ谷 本町 2-1-22	川口市 (川口市立 文化財センター 「郷土資料館」)	昭 42・3・28 (追加指定) 昭 55・3・29	埼玉指 第 219 号	埼玉高速鉄道 鳩ヶ谷駅
18	陽雲寺所蔵文書	7 点	戦国時代。武田信玄自筆の起請文、書状、判物等 6 点と古河公方足利政氏の判物 1 点。	児玉郡上里町 金久保 701	陽雲寺	昭 43・3・29	埼玉指 第 227 号	J R 高崎線 神保原駅
19	道祖土文書	26 点	戦国時代。岩付太田氏(17点)や小田原北条氏(9点)の発給文書。	比企郡川島町	個人	昭 43・3・29	埼玉指 第 228 号	(県立文書館 に寄託)
20	三峯神社日鑑	125 冊	安永 8 年～明治 45 年の神社日誌。美濃判。	秩父市三峰 298	三峯神社	昭 46・3・31	埼玉指 第 240 号	秩父鉄道 三峰口駅
21	浄国寺日鑑	77 冊	享保元年～明治 6 年の浄国寺歴代住職による日記。	さいたま市 岩槻区加倉 1-25-1	浄国寺	昭 46・3・31	埼玉指 第 241 号	東武野田線 岩槻駅
22	榎本弥左衛門覚書 付 榎本弥左衛 門夫婦画像 二幅 文政元年銘 桐箱一合	2 冊	江戸時代前期。4 代目弥左衛門忠重の筆。「万之覚」は寛永～万治の覚、「三ッ子よりの覚」は編年体の追想記述。	川越市	個人	昭 46・3・31	埼玉指 第 242 号	(川越市立博 物館に寄託)
23	紙本墨書大般若波羅 蜜多經 付 經櫃三口 請箱三三口	539 巻	南北朝時代。河越氏のために写経され、戦国時代には太田氏のために真読された。中世史の貴重な資料。	さいたま市緑 区宮本 2-17-1	氷川女體神社	昭 47・3・28	埼玉指 第 254 号	J R 武蔵野線 東浦和駅 (さいたま市 立浦和博物館 に寄託)
24	玉蔵院文書	328 通	真言宗の醍醐三宝院流教義伝達に関わる印信類。最古は嘉禎 2 年の道教付法状(室町時代印融が加点)。	さいたま市 浦和区仲町 2-13-22	玉蔵院	昭 47・3・28	埼玉指 第 255 号	J R 浦和駅
25	清河寺文書	7 点	室町～戦国時代。鎌倉公方足利持氏、岩付太田氏の発給文書。寺領や寺僧等にかかわるもの。	さいたま市西 区清河寺 792	清河寺	昭 48・3・9	埼玉指 第 262 号	J R 川越線 西大宮駅 (県立文書館 に寄託)

No.	名 称	員数	概 要	所在地	所有者 (管理者)	指定年月日	指定 番号	最寄り駅 (備考)
26	光西寺松井家文書	26 点	鎌倉～江戸時代。旧川越城主松井松平家伝来の文書。光西寺は同家の菩提寺。	川越市小仙波町 5-4-7	光西寺	昭 53・3・28	埼玉指 第 298 号	J R 川越線 東武東上線 川越駅、 西武池袋線 本川越駅 (県立歴史と 民俗の博物館 に 2 点 貸出、 川越市立博物 館に 24 点 寄 託)
27	天海関係文書 付 紙本着色天 海画像一幅	10 点	江戸時代初期。川越仙波喜多院を再興した天海関係の文書。画像は天海晩年の像。	川越市小仙波町 1-20-1	喜多院	昭 56・3・27	埼玉指 第 311 号	J R 川越線 東武東上線 川越駅、 西武池袋線 本川越駅
28	斎藤家中世文書	10 点	戦国時代。北条氏康感状、北条氏邦印判状等、当時の鉢形領の動向を伝える文書。	さいたま市 浦和区高砂 4-3-18	埼玉県 (県立文書館)	昭 57・3・23	埼玉指 第 313 号	J R 浦和駅
29	安保文書	37 点	鎌倉時代末期～戦国時代。武蔵七党丹党安保氏の家伝の文書。関東の中世史研究上、貴重。	さいたま市 浦和区高砂 4-3-18	埼玉県 (県立文書館)	昭 57・11・30	埼玉指 第 316 号	J R 浦和駅
30	野火止新田開発関係 資料	9 点	寛文元年の検地帳 6 冊のうちの 5 冊と、同年及び 2 年の年貢割付状 4 通。	新座市野火止 2-9-37	新座市 (新座市立歴史 民俗資料館)	昭 58・3・22	埼玉指 第 320 号	J R 武蔵野線 新座駅
31	金子家文書	41 点	武蔵七党村山党金子家忠の後裔金子家に伝わる中世文書。西遷して伊予国で活躍した時期のものが主体。	さいたま市	個人	昭 59・3・27	埼玉指第 325 号	(県立歴史と 民俗の博物館 に寄託)
32	紙本墨書大般若経 付 経櫃三口 経箱六十口	599 帖	明応 7 年、現美里町の円福寺で書写。当地の土豪桜沢氏の信仰を知る上で貴重。近世初期に長久寺の所蔵となったと考えられている。	行田市桜町 2-20-44	長久寺	昭 63・2・26	埼玉指 第 347 号	秩父鉄道 東行田駅 (県立歴史と 民俗の博物館 に一部貸出)
33	赤堀文書	2 点	戦国時代。天文 15 年の上杉憲政書状(河越夜戦に関するもの)と、長享 2 年の上杉顕定書状。収集文書。	さいたま市 浦和区高砂 4-3-18	埼玉県 (県立文書館)	平 8・3・19	埼玉指 第 428 号	J R 浦和駅
34	三戸文書	2 点	戦国時代。天文 16 年の上杉憲当書状と年未詳の梶原政景書状。収集文書。	さいたま市 浦和区高砂 4-3-18	埼玉県 (県立文書館)	平 8・3・19	埼玉指 第 429 号	J R 浦和駅
35	平岩文書	2 点	岩付城攻めに参加した平岩家に伝来。天正 18 年の豊臣秀吉朱印状と織田信雄書状。収集文書。	さいたま市 浦和区高砂 4-3-18	埼玉県 (県立文書館)	平 8・3・19	埼玉指 第 430 号	J R 浦和駅
36	長谷部家文書	13 点	戦国～江戸時代初期。鉢形城主北条氏邦の発給文書 9 点と近世初頭の地方文書 4 点。	深谷市	個人	平 8・3・19	埼玉指 第 431 号	(県立文書館 に寄託)

No.	名 称	員数	概 要	所在地	所有者 (管理者)	指定年月日	指定 番号	最寄り駅 (備考)
37	明星院文書	12 点	戦国～江戸時代初期。岩付太田氏の発給文書 3 点、小田原北条氏発給文書 4 点、慶長・元和期の寺院法度等 5 点。	桶川市倉田 150	明星院	平 8・3・19	埼玉指 第 432 号	J R 高崎線 桶川駅 (県立文書館に寄託)
38	逸見家文書	11 点	戦国～江戸時代初期。鉢形城主北条氏邦の発給文書 5 点、乙千代発給文書 3 点、小田原北条氏発給文書 1 点、近世初頭の検地帳 2 点。	さいたま市	個人	平 9・3・18	埼玉指 第 439 号	(県立文書館に寄託)
39	平林寺文書	22 点	戦国～江戸時代初期。岩付太田氏及び小田原北条氏の発給文書 8 点を含む豊富な内容の文書。作成当初の姿を伝える。	新座市野火止 3-1-1	平林寺	平 11・3・19	埼玉指第 456 号	J R 武蔵野線 新座駅
40	喜多院日鑑	98 冊	宝暦 8 年～明治 3 年。住職の下で寺内の事務を統括した知事に就任した真珠院が作成した記録。	川越市小仙波町 1-20-1	喜多院	平 12・3・17 (追加指定) 平 26・3・11	埼玉指 第 466 号	J R 川越線 東武東上線 川越駅、 西武池袋線 本川越駅
41	喜多院日鑑	9 冊	宝暦 8 年～明治 3 年。住職の下で寺内の事務を統括した知事に就任した真珠院が作成した記録のうち 9 冊。	川越市三久保町 2-9	川越市 (川越市立 中央図書館)	平 12・3・17 (追加指定) 平 26・3・11	埼玉指 第 467 号	J R 川越線 東武東上線 川越駅 (喜多院に貸出)
42	栗橋関所日記及び 関係資料	94 点	日光道中利根川渡河点の栗橋関所番士により作成された元禄 10 年～明治 2 年の関所記録及び由緒書類。	さいたま市 浦和区高砂 4-3-18	埼玉県 (県立文書館)	平 15・3・18	埼玉指 第 483 号	J R 浦和駅
43	浄蓮寺文書	5 点	扇谷上杉朝興及び松山城主上田氏による浄蓮寺の支配に関する文書。現在は、一巻の卷子に仕立てられている。	秩父郡東秩父 村御堂 362	浄蓮寺	平 17・3・22	埼玉指 第 499 号	東武東上線 J R 八高線 小川町駅
44	蓮馨寺日鑑	70 冊	正徳 4 年～慶応 2 年。寺の公用日記。内容は多岐にわたり、質量ともに充実している。	川越市連雀町 7-1	蓮馨寺	平 21・3・17	埼玉指 第 518 号	J R 川越線 東武東上線 川越駅、 西武池袋線 本川越駅
45	大野家文書	5 点	北条氏による領国支配の実態を伝える、元亀 3～天正 18 年の文書。小切紙 3 点を含む。	川越市郭町 2 丁目 30 - 1	川越市 (川越市立 博物館)	平 27・3・13	埼玉指 第 538 号	J R 川越線 東武東上線 川越駅、 西武池袋線 本川越駅
46	出浦家文書	7 通	戦国時代。南図書助判物、北条氏邦判物・感状・朱印状 3 通、北条氏直書状。甲斐武田氏との合戦など、北条氏の秩父地方における動向を伝える。	秩父郡小鹿野 町	個人	平 28・3・15	埼玉指 第 546 号	

No.	名 称	員数	概 要	所在地	所有者 (管理者)	指定年月日	指定 番号	最寄り駅 (備考)
47	浄蓮寺過去帳	3 冊	慶長 8 年に浄蓮寺第十五世日真上人により作成され、十八世日尋まで約 100 年にわたって使用された過去帳。松山城主上田氏の情報を知ることができる。	秩父郡東秩父村大字御堂 362	浄蓮寺	令 2・2・21	埼玉指第 568 号	J R 八高線 東武東上線 小川町駅
48	北爪文書	5 点	足利長尾氏、後北条氏に属し、江戸時代に新堀新田（現熊谷市）に移住した、北爪家に伝来した古文書。後北条氏の上野進出を巡り、長尾氏や関東の在地領主の動向が分かる。	寄居町大字鉢形 2496-2	寄居町 (鉢形城歴史館)	令 4・3・18	埼玉指第 573 号	J R 八高線 秩父鉄道 東武東上線 寄居駅
49	稲生家文書	1970 点	三河譜代の旗本稲生家に伝わった古文書。埼玉県内に伝存する旗本関係史料の中では質量共に最も充実。	坂戸市	個人	令 6・3・15	埼玉指第 581 号	(県立文書館に寄託)
50	紺紙金字法華経	8 卷	円仁筆の伝承を持つ延暦寺蔵紺紙銀字法華経の 12 世紀頃の転写本。徳性寺本は、制作当初の見返絵が唯一完存。延暦寺銀字本及びその系統の法華経写経を研究するうえ重要。	加須市大越 1984	徳性寺	令 7・3・14	埼玉指第 584 号	東武伊勢崎線 加須駅 (県立歴史と民俗の博物館に寄託)

(6) 考古資料

No.	名 称	員数	概 要	所在地	所有者 (管理者)	指定年月日	指定 番号	最寄り駅 (備考)
1	笑う埴輪	1 体	古墳時代後期。兄玉郡兄玉町生野山出土。農夫の姿。高さ 62cm。	行田市埼玉 4834	埼玉県 (県立さきたま 史跡の博物館)	昭 29・3・4	埼玉指 第 12 号	J R 高崎線 吹上駅、 秩父鉄道 行田市駅
2	銅経筒	1 口	享保年間に平沢寺の裏山から出土したと伝える。無節円筒式。蓋を欠失。久安 4 年銘。高さ 23.8cm、口径 12.3cm。	比企郡嵐山町 平沢 977	平沢寺	昭 29・10・23	埼玉指 第 24 号	東武東上線 武蔵嵐山駅 (県立嵐山史 跡の博物館に 寄託)
3	丸木舟	1 隻	縄文時代。川越市中老袋地内入間大橋上流約 30m 地点から出土。全長 5.4m。榧材。	川越市郭町 2-30-1	川越市 (川越市立 博物館)	昭 29・10・23	埼玉指 第 25 号	J R 川越線 東武東上線 川越駅、 西武池袋線 本川越駅
4	青石塔婆	9 基	弘安、徳治、元亨、嘉暦、康永、文和、貞治、寛正年間の、緑泥片岩製の板石塔婆。9 基から構成される板碑の内、十三仏板碑は平成 26 年破損。修復後慈光寺本堂内にて保管。	比企郡ときが わ町西平 395	慈光寺	昭 30・11・1	埼玉指 第 48 号	J R 八高線 明覚駅
5	矢那瀬の石どう	1 基	明応 8 年。庚申供養のため数名の結縁者により造立。高さ 1.6m。車石付。	秩父郡長瀬町 矢那瀬 958	地藏堂	昭 30・11・1	埼玉指 第 49 号	秩父鉄道 波久礼駅・ 樋口駅
6	古瓦	338 個	飛鳥～江戸時代。柴田常恵氏の収集品。出土地が正確で貴重。	行田市埼玉 4834	埼玉県 (県立さきたま 史跡の博物館)	昭 30・11・1	埼玉指 第 50 号	J R 高崎線 吹上駅、 秩父鉄道 行田市駅
7	水鳥埴輪	1 体	埼玉古墳群中の小円墳から出土。総高 79cm。	行田市	個人	昭 30・11・1	埼玉指 第 51 号	(東京国立博 物館に寄託)
8	大日種子板石塔婆	1 基	銘「右為父母現当也左近将監敬白」「嘉禎二年丙申八月廿一日彼岸第六」。高さ 193cm。	行田市佐間 3-8-9	行田市 (行田市埋蔵 文化財センター)	昭 36・3・1	埼玉指 第 154 号	J R 高崎線 吹上駅、 秩父鉄道 行田市駅
9	廿一仏板石塔婆	1 基	銘「申待供養」「天正三年八月吉日」。高さ 153cm。	越谷市	個人	昭 36・3・1	埼玉指 第 155 号	
10	曼荼羅板石塔婆	1 基	中央に胎藏界曼荼羅の中台八葉院を種子で表す。「寛元元年癸卯八月十七日敬白」の銘がある。青石塔婆の中でも初期の作で、美術的にも優れる。高さ 137cm。	大里郡寄居 町富田谷津 2063	大日堂 (個人管理)	昭 36・3・1	埼玉指 第 156 号	東武東上線 男衾駅
11	板石塔婆及び蔵骨器	1 基 2 口	延慶 3 年銘板石塔婆は、高さ 295cm。塔婆下出土の瓶子(高さ 24.9cm)と水注(高さ 16.4cm)は鎌倉時代の古瀬戸。	入間郡毛呂山 町川角 1098- 2、大類 535-1	毛呂山町 (毛呂山町歴史 民俗資料館)	昭 40・3・16	埼玉指 第 199 号	東武越生線 武州長瀬駅
12	板石塔婆	1 基	貞永 2 年銘。上部が水平。阿弥陀三尊像を刻む。高さ 160cm。	北本市石戸宿 3-119	東光寺 (北本市)	昭 40・3・16	埼玉指 第 200 号	J R 高崎線 北本駅

No.	名 称	員数	概 要	所在地	所有者 (管理者)	指定年月日	指定 番号	最寄り駅 (備考)
13	板石塔婆	2 基	正安 3 年銘。変形不動曼荼羅と変形五輪塔を刻む。	朝霞市岡 2-7-22	朝霞市 (朝霞市教育 委員会)	昭 40・3・16	埼玉指 第 201 号	J R 武蔵野線 北朝霞駅、 東武東上線 朝霞台駅
14	万福寺の板石塔婆	1 基	徳治 2 年銘。浅羽小太夫行成の供養のために建立。胎蔵界大日種子。高さ 211cm。	坂戸市北浅羽 193	万福寺 (北浅羽区)	昭 40・3・16	埼玉指 第 202 号	東武東上線 坂戸駅
15	板石塔婆	1 基	嘉元 4 年銘。来迎阿弥陀三尊像を線刻。高さ 168cm。	東松山市岡 498	光福寺	昭 40・3・16	埼玉指 第 203 号	東武東上線 東松山駅
16	板石塔婆	1 基	貞和 2 年銘。日蓮上人 65 回忌の供養のため建立。高さ 160cm。	東松山市神戸 1121	妙昌寺	昭 40・3・16	埼玉指 第 204 号	東武東上線 東松山駅
17	板石塔婆	1 基	永仁 4 年銘。阿闍如来を主尊とし銘文に法華經千部誦誦を刻す。高さ 202cm。	比企郡ときが わ町西平 445	靈山院	昭 40・3・16	埼玉指 第 205 号	J R 八高線 明覚駅
18	板石塔婆 (七基連立)	1 基	文禄 4 年銘。妙法蓮華經の塔婆 7 本を 1 石に刻む。高さ 102cm。	秩父郡東秩父 村御堂 361	浄蓮寺	昭 40・3・16	埼玉指 第 206 号	東武東上線 J R 八高線 小川町駅
19	板石塔婆 (三連形)	1 基	正嘉 2 年銘。3 基を 1 石に刻む。高さ 204cm。	本庄市児玉町 元田 263	元田自治会	昭 40・3・16	埼玉指 第 207 号	J R 八高線 児玉駅
20	板石塔婆	1 基	鎌倉時代。表に善光寺式三尊を浮彫り、裏に釈迦三尊の種子を刻む。高さ 178cm。	熊谷市妻沼 1629	熊谷市	昭 40・3・16	埼玉指 第 208 号	J R 高崎線
21	板石塔婆	1 基	延慶 4 年銘。唯願法師が真仏法師に対し報恩供養のために建立したもの。蓮台上に南無阿弥陀仏の文字を大きく刻む。高さ 4 m。	蓮田市馬込 2795	蓮田市	昭 40・3・16	埼玉指 第 209 号	J R 宇都宮線 蓮田駅
22	板石塔婆	1 基	南北朝時代。俱利伽羅不動と胎蔵界大日を刻む。修験道系板石塔婆の代表。高さ 123cm。	春日部市西親 野井 462	大王寺	昭 40・3・16	埼玉指 第 210 号	東武伊勢崎線 野田線 春日部駅
23	蔵骨器 付 慈光寺開山塔 出土品 一括	1 口	平安時代。開山塔の下から出土した須恵器甕。高さ 51.6cm。	比企郡ときが わ町西平 386	慈光寺	昭 41・3・8	埼玉指 第 214 号	J R 八高線 明覚駅
24	法台寺板石塔婆 付 致得元年銘の 板石塔婆 一基	10 基	六字名号塔婆。時宗の特色を持つ。「致得」は「至徳」か。	新座市道場 1-10-13	法台寺	昭 42・3・28	埼玉指 第 220 号	東武東上線 朝霞台駅
25	智観寺板石塔婆	3 基	武蔵七党丹党中山氏関係の板碑。仁治 2 年、3 年、永仁 6 年銘。	飯能市中山 520	智観寺	昭 49・3・8	埼玉指 第 268 号	西武池袋線 飯能駅、 J R 八高線 東飯能駅
26	関山式土器	8 点	縄文時代前期。蓮田市関山貝塚出土。羽状縄文、鋸歯状文、蕨手状文のある深鉢形土器。	熊谷市船木台 4-4-1	埼玉県 (県文化財収 蔵施設)	昭 51・3・30	埼玉指 第 282 号	J R 高崎線 吹上駅 (県立歴史と 民俗の博物館 に一部貸出)
27	長坂聖天塚古墳出土品	630 点	古墳時代中期。鏡、刀子、勾玉、白玉、鉄製品などの出土品。	児玉郡美里町 木部 574	美里町	昭 51・3・30	埼玉指 第 284 号	J R 高崎線 本庄駅

No.	名 称	員数	概 要	所在地	所有者 (管理者)	指定年月日	指定 番号	最寄り駅 (備考)
28	農夫埴輪	1 体	古墳時代後期。熊谷市東別所出土。脚部は円筒、菅笠、鍬をかつぎ、腰に刀子状の工具。	行田市埼玉 4834	埼玉県 (県立さきたま 史跡の博物館)	昭 57・11・30	埼玉指 第 317 号	J R 高崎線 吹上駅、 秩父鉄道 行田市駅
29	蕨手刀 付 足金物 二点 秩父市大野原 古墳出土	1 口	7 世紀末から 8 世紀。明治 41 年に大野原村立小学校庭内の小円墳から出土。ほぼ完形。全長 44.8cm、刀身 32.6cm。	秩父市黒谷 261-1	秩父市 (和銅鋳物館)	昭 62・3・24	埼玉指 第 335 号	秩父鉄道 和銅黒谷駅
30	亀形土製品及び伴出 遺物 東北原遺跡第二号住 居跡出土	一括	縄文時代晩期。全長 24.7cm、三叉文や帯縄文で飾られ、赤彩が施された亀形土製品をはじめ、人面付土版等計 97 点。	さいたま市大 宮区高鼻町 2-1-2	さいたま市 (さいたま市 立博物館)	昭 62・3・24 (名称変更) 平 14・3・22	埼玉指 第 336 号	J R 東武野田線 埼玉新都市 交通ニュー シャトル 大宮駅
31	権現山遺跡方形周溝 墓出土底部穿孔土器	13 点	方形周溝墓の溝中から一括出土した底部が穿孔された壺形土器 13 点、うち 12 点は焼成前の穿孔。	春日部市粕壁 東 3-2-15	春日部市	昭 62・3・24	埼玉指 第 337 号	東武伊勢崎線 野田線 春日部駅 (県立歴史と 民俗の博物館 に貸出)
32	光福寺宝篋印塔出土品	一括	重要文化財光福寺宝篋印塔の塔身及び塔下から発見。白磁四耳壺(蔵骨器) 1 口、付蓋石 1 個、水晶製数珠 9 顆、銅製五輪塔 1 基、舍利 10 粒。	東松山市岡 498	光福寺	昭 62・3・24	埼玉指 第 338 号	東武東上線 東松山駅
33	鎧塚古墳出土土器	一括	5 世紀後半～末。帆立貝式前方後円墳の、墓前祭祀跡と考えられる 2 ヶ所の遺構より出土。須恵器 4 点及び土師器 32 点。	熊谷市千代 329	熊谷市 (熊谷市立 江南文化財セ ンター)	昭 63・2・26	埼玉指 第 349 号	J R 高崎線 秩父鉄道 熊谷駅
34	目沼九号墳出土品	一括	6 世紀前半。20 基程ある古墳群の中央部の南西にある古墳より出土。鈴杏葉 3 点、直刀 1 口、鑷子 1 口を含む武器、馬具、土師器等。	北葛飾郡杉戸 町清地 2-9- 29	杉戸町 (杉戸町教育 委員会)	昭 63・2・26	埼玉指 第 350 号	東武伊勢崎線 東武動物公 園駅 (県立歴史と 民俗の博物館 に寄託)
35	灰釉蔵骨器 付 須恵器蓋 八王子出土	1 口	10 世紀初頭。さいたま市中央区八王子より出土。宝珠形のつまみのつく須恵器蓋がつき、内に一体分の火葬人骨を埋納。高さ 25.7cm、口径 12.7cm。	さいたま市大 宮区高鼻町 2-1-2	さいたま市 (さいたま市 立博物館)	昭 63・2・26 (名称変更) 平 14・3・22	埼玉指 第 351 号	J R 東武野田線 埼玉新都市 交通ニュー シャトル 大宮駅
36	嘉禄三年銘板石塔婆	1 基	嘉禄 3 年銘。日本最古の在銘板石塔婆。上半部に阿弥陀如来坐像及び 2 菩薩を彫出、下半部に 7 行の銘文を陰刻。高さ 115cm。	熊谷市千代 329	熊谷市 (熊谷市立 江南文化財セ ンター)	平 2・3・28	埼玉指 第 365 号	J R 高崎線 秩父鉄道 熊谷駅
37	安貞二年銘板石塔婆	1 基	安貞 2 年銘。高さ 126cm。県内で 2 番目に古い銘。	熊谷市樋春 297	真光寺	平 2・3・28	埼玉指 第 366 号	J R 高崎線 秩父鉄道 熊谷駅

No.	名 称	員数	概 要	所在地	所有者 (管理者)	指定年月日	指定 番号	最寄り駅 (備考)
38	寛喜二年銘板石塔婆	1 基	寛喜 2 年銘。高さ上半 90cm、 下半 92cm。上半部に阿弥陀 如来立像及び両脇侍 2 菩薩。 下半部に 9 行の銘文を陰刻。	熊谷市千代 329	熊谷市 (熊谷市立 江南文化財セ ンター)	平 2・3・28	埼玉指 第 367 号	J R 高崎線 秩父鉄道 熊谷駅
39	平林寺遺跡住居跡出土 土器	9 箇	古墳時代初期。さいたま市平 林寺遺跡出土。壺・器台・甕・ 高坏など。在地のほか、畿内・ 東海北陸地方の土器を含む。	熊谷市船木台 4-4-1	埼玉県 (県文化財 収蔵施設)	平 4・3・11	埼玉指 第 381 号	J R 高崎線 吹上駅 (県立歴史と 民俗の博物館 に貸出)
40	八王子遺跡出土須恵器 付 土師器 四箇	2 箇	5 世紀中葉。さいたま市八王 子遺跡出土。樽型甕と高坏の 須恵器はほぼ完形で優品。同 一土坑内からは 4 点の土師器 を伴う。	熊谷市船木台 4-4-1	埼玉県 (県文化財 収蔵施設)	平 4・3・11	埼玉指 第 382 号	J R 高崎線 吹上駅 (県立歴史と 民俗の博物館 に貸出)
41	白鉄遺跡出土須恵器 壺 付 土師器 二箇	1 箇	5 世紀後半。さいたま市白鉄 遺跡出土。大阪陶器窯跡群で 生産された須恵器及び同時期 の 2 点の土師器が一括出土。	さいたま市	個人 (さいたま市 教育委員会)	平 4・3・11	埼玉指 第 383 号	(さいたま市 立浦和博物館 保管)
42	飾馬埴輪 伝児玉町 出土	1 体	大型で均整のとれた優品。馬 具の装着状態をよく表す。 体長 89cm、体高 94cm。	熊谷市船木台 4-4-1	埼玉県 (県文化財収 蔵施設)	平 4・3・11	埼玉指 第 384 号	J R 高崎線 吹上駅 (県立歴史と 民俗の博物館 に貸出)
43	宮戸薬師堂山経塚出土 経筒及び外容器	4 口	12 世紀後半。鋳銅製の経筒と 常滑製の外容器のそろった好 資料。	朝霞市岡 2-7-22	朝霞市 (朝霞市教育 委員会)	平 4・3・11	埼玉指 第 386 号	J R 武蔵野線 北朝霞駅、 東武東上線 朝霞台駅
44	崇徳寺跡出土蔵骨器	4 口	常滑焼壺 1、古瀬戸瓶子 1、 瓦質壺 2、14 ～ 15 世紀の蔵 骨器の好資料。	入間郡毛呂山 町大類 535-1	毛呂山町 (毛呂山町歴史 民俗資料館)	平 4・3・11	埼玉指 第 387 号	東武越生線 武州長瀬駅
45	中砂遺跡出土旧石器	一括	所沢市中砂遺跡出土。旧石器 時代。ナイフ形石器を主体と し、細石器・尖頭器等のほぼ 連続する 3 時期以上にわたる 石器群。	熊谷市船木台 4-4-1	埼玉県 (県文化財 収蔵施設)	平 5・3・10	埼玉指 第 396 号	J R 高崎線 吹上駅
46	赤城遺跡出土祭祀関 係遺物	一括	鴻巣市赤城遺跡出土。縄文時 代中期から晩期の土版・岩版・ 石棒・石剣・独鈷石等の祭祀 関係遺物。	熊谷市船木台 4-4-1	埼玉県 (県文化財 収蔵施設)	平 5・3・10	埼玉指 第 397 号	J R 高崎線 吹上駅
47	大刀埴輪 黒田一七 号古墳出土	1 点	深谷市黒田古墳群出土。高さ 97.4cm。県内唯一の大刀埴輪 の完形品。古墳時代の大刀の 形状を忠実に著す。	熊谷市船木台 4-4-1	埼玉県 (県文化財 収蔵施設)	平 5・3・10	埼玉指 第 398 号	J R 高崎線 吹上駅
48	白草遺跡出土旧石器	一括	深谷市白草遺跡出土。旧石器 時代終末期。細石刃を中心と した彫器・搔器を伴う石器群。	熊谷市船木台 4-4-1	埼玉県 (県文化財 収蔵施設)	平 6・3・16	埼玉指 第 410 号	J R 高崎線 吹上駅
49	雅楽谷遺跡出土土器	15 点	縄文時代後・晩期。蓮田市雅 楽谷遺跡出土。一時期の器種 の組合せを構成するもの。	熊谷市船木台 4-4-1	埼玉県 (県文化財収 蔵施設)	平 6・3・16	埼玉指 第 411 号	J R 高崎線 吹上駅

No.	名 称	員数	概 要	所在地	所有者 (管理者)	指定年月日	指定 番号	最寄り駅 (備考)
50	花ノ木遺跡住居跡出土遺物	一括	平安時代。和光市花ノ木遺跡出土。焼失竪穴住居跡からの出土遺物。須恵器を主体とする多量の土器や火熨斗、倉庫の鍵等の道具類。	熊谷市船木台 4-4-1	埼玉県 (県文化財収蔵施設)	平 7・3・17	埼玉指 第 421 号	J R 高崎線 吹上駅
51	広木上宿遺跡出土 金属製小型宝塔 小型持蓮華 付 漆箱残欠	5 基 5 箇	美里町広木上宿遺跡出土。中世寺院跡の遺構から漆箱に納めて埋納した状態で出土。金銅・金・銀・銅・鉄製の宝塔及び持蓮華がセット。学術的・美術工芸的に重要。	熊谷市船木台 4-4-1	埼玉県 (県文化財収蔵施設)	平 7・3・17	埼玉指 第 422 号	J R 高崎線 吹上駅
52	円照寺裏墓跡出土 蔵骨器及び板石塔婆 付 板石塔婆 残欠 六	5 箇 1 基	中世墓跡から出土した常滑焼・渥美焼・瓦質陶器の蔵骨器と、建武元年銘の板石塔婆。	入間市二本木 100	入間市 (入間市博物館)	平 7・3・17	埼玉指 第 423 号	西武池袋線 入間市駅
53	大光寺裏遺跡出土 中世陶磁器等遺物	8 点	14～16 世紀。児玉郡上里町勅使河原出土。古瀬戸瓶子・天目茶碗・青銅香炉及び中国龍泉窯産の青磁香炉・青磁碗。分銅、軸金具等の金銅製品。	熊谷市船木台 4-4-1	埼玉県 (県文化財収蔵施設)	平 9・3・18	埼玉指 第 440 号	J R 高崎線 吹上駅
54	羽沢遺跡出土縄文土器	11 点	縄文時代中期。富士見市羽沢遺跡第 40 号住居跡出土の勝坂式土器の一括資料。	富士見市水子 2003-1	富士見市 (富士見市立水子貝塚資料館)	平 10・3・17	埼玉指 第 445 号	東武東上線 みずほ台駅
55	塚越向山遺跡出土 注口土器及び収納石器	31 点	縄文時代中期。注口土器の中に磨製石斧・黒曜石・チャート製の剥片が収められ、黒曜石塊が乗る。	秩父郡小鹿野町小鹿野 123	小鹿野町 (小鹿野町教育委員会)	平 10・3・17	埼玉指 第 446 号	秩父鉄道 秩父駅
56	西久保遺跡出土旧石器	一括	旧石器時代後期、砂川期。ナイフ形石器・搔器・削器類、彫器・石核等。	熊谷市船木台 4-4-1	埼玉県 (県文化財収蔵施設)	平 10・3・17	埼玉指 第 447 号	J R 高崎線 吹上駅 (県立歴史と民俗の博物館に貸出)
57	馬場小室山遺跡出土 土偶装飾土器・人面画土器	2 点	縄文時代。さいたま市馬場小室山遺跡出土。男女一対の土偶及び写実的な人面画を配した深鉢形土器。	さいたま市緑区三室 2458	さいたま市 (さいたま市立浦和博物館)	平 10・3・17	埼玉指 第 448 号	J R 京浜東北線 北浦和駅
58	横間栗遺跡再葬墓出土遺物	一括	弥生時代。熊谷市大字西別府字横間栗出土。再葬墓群から出土した壺形土器と石器。	熊谷市千代 329	熊谷市 (熊谷市立江南文化財センター)	平 11・3・19	埼玉指 第 457 号	J R 高崎線 秩父鉄道 熊谷駅
59	妙善院五輪塔	1 基	県内最古の年号を持つ。梵字の左右に「了存順寂六十二才」「嘉暦四年三月二日」と刻む。高さ 117cm。	所沢市三ヶ島 3-1410	妙善院	平 11・3・19	埼玉指 第 458 号	西武池袋線 狭山ヶ丘駅
60	殿山遺跡出土旧石器	一括	上尾市大字畔吉字中出土。関東地方で初めて国府型ナイフ形石器が黒曜石製のナイフ形石器と同一層位から出土。	上尾市本町 3-1-1	上尾市 (上尾市教育委員会)	平 12・3・17	埼玉指 第 468 号	J R 高崎線 上尾駅
61	本郷貝塚出土縄文土器及び石器	9 点	松伏町大字築比地字大宮出土。縄文時代後期堀之内期の一括資料。土壌内に様々な器形の土器と石器を残す。	北葛飾郡松伏町松伏 2424	松伏町 (松伏町教育委員会)	平 12・3・17	埼玉指 第 469 号	東武伊勢崎線 北越谷駅

No.	名 称	員数	概 要	所在地	所有者 (管理者)	指定年月日	指定 番号	最寄り駅 (備考)
62	金蔵院宝篋印塔出土 白磁四耳壺及び渥美 大甕	2 口	吉見町大串出土。金蔵院宝篋 印塔の保存修理工事に伴う確 認調査で発見された。塔は鎌 倉時代の大串次郎の墓と推定 され、白磁四耳壺は美術工芸 資料としての価値も有する優 品。	比企郡吉見町 下細谷 411	吉見町	平 13・3・16	埼玉指 第 472 号	東武東上線 東松山駅
63	古凍古墳群内土壙出土 鉄製壺鐙及び馬具	一括	東松山市大字古凍字根岸裏出 土。古墳祭祀に伴う馬の殉葬 墓から出土した馬具類の一括 資料。特に鉄製壺鐙は、完全 な形状をとどめた優品。	東松山市下野 本 528-1	東松山市 (東松山市教 育委員会)	平 14・3・22	埼玉指 第 478 号	東武東上線 東松山駅 高坂駅
64	四十塚古墳出土 鉄製短甲及び出土品	一括	旧岡部町（現深谷市）大字岡 出土。昭和 7 年に出土したと 伝えられていた幻の資料が、 平成 10 年に再発見され現代 に甦った。短甲は県内では初 報告の資料、また五鈴鏡板付 轡は全国的にも出土例が少な い。	深谷市菅沼 1019	深谷市	平 15・3・18	埼玉指 第 484 号	秩父鉄道 武川駅
65	須釜遺跡再葬墓出土 遺物	一括	東日本の弥生時代中期の遺跡 に見られる特徴的な再葬墓か ら出土。県東部の弥生文化を 知る上で貴重。	春日部市粕壁 東 3-2-15	春日部市 (春日部市郷 土資料館)	平 17・3・22	埼玉指 第 500 号	東武伊勢崎線 野田線 春日部駅
66	酒巻一五号墳出土品 大刀形埴輪 軀形埴輪 鞍形埴輪 円筒埴輪 その他	3 点 2 点 1 点 3 点 一括	6 世紀後半。長さ 34m の前方 後円墳から出土。大刀形埴輪 のうち、1 点の柄部には 6 個 の三輪玉、鞍部には赤彩され た 2 本の紐が表現される。	行田市本丸 17-23	行田市 (行田市郷土 博物館)	平 19・3・16	埼玉指 第 511 号	秩父鉄道 行田市駅
67	黒浜貝塚群出土品	一括	黒浜貝塚群は、縄文時代前期 中葉の標式遺跡。炭釜屋敷貝 塚、宿下遺跡、宿上遺跡、天 神前遺跡出土品で構成され る。土器 28 点、石器 9 点、装 飾品 7 点の計 44 点。出土土 器群は黒浜式の変遷を示す。	蓮田市黒浜 2801 - 1	蓮田市 (蓮田市教育 委員会)	平 20・3・14	埼玉指 第 515 号	J R 宇都宮線 蓮田駅
68	吉ヶ谷遺跡竪穴住居 跡出土品	23 点	弥生時代後期吉ヶ谷式土器の 標式資料。単一の竪穴住居跡 から一括出土した土器群が主 体で、土製紡錘車、土製勾玉 も含まれる。	東松山市下野 本 528-1	東松山市 (東松山市教 育委員会)	平 21・3・17	埼玉指 第 519 号	東武東上線 高坂駅
69	西別府祭祀遺跡出土 品	一括	遺跡は、古墳時代から平安時 代にかけて継続的に形成され た祭祀遺跡で、7 世紀後半か ら 11 世紀までの継続した水 辺の祭祀を物語る。出土品は、 石製模造品や墨書土器など、 計 359 点。	熊谷市千代 329	熊谷市 (熊谷市立江南 文化財センター)	平 23・3・18	埼玉指 第 523 号	J R 高崎線 秩父鉄道 熊谷駅

No.	名 称	員数	概 要	所在地	所有者 (管理者)	指定年月日	指定 番号	最寄り駅 (備考)
70	池上遺跡出土品	67 点	熊谷市池上遺跡出土。関東地方における、灌漑水稻耕作定着期の特徴をよく示しており、他地域の交流や交差編年を検討する上で、有益な一括土器群である。	熊谷市船木台 4-4-1	埼玉県 (県文化財 収蔵施設)	平 30・3・24	埼玉指 第 554 号	J R 高崎線 吹上駅
71	午王山遺跡出土品	121 点	中部高地系、東京湾岸系、東海東部系など、多系統の土器が混生しており、弥生時代における人間集団の移動や交流を考える上で重要である。出土土器は、弥生時代後期の荒川下流域における土器型式の変遷を特徴的に示している。	和光市諏訪 3-20	和光市	平 30・2・27	埼玉指 第 560 号	東武東上線 東京メトロ 有楽町線・ 副都心線 和光市駅
72	小敷田遺跡方形周溝墓出土土器	15 点	小敷田遺跡は熊谷市から行田市にかけて所在する遺跡。本遺跡で検出された方形周溝墓群は関東地方における初現期のものである。	熊谷市船木台 4-4-1	埼玉県 (県文化財 収蔵施設)	平 31・2・22	埼玉指 第 566 号	J R 高崎線 吹上駅
73	三ツ和遺跡出土木簡 附 井戸杵十一点 須恵器杯一点 須恵器及び土 師器残欠十一点 木簡を除く井 戸杵補強材三 十一点	4 点	三ツ和遺跡は、古墳時代、平安時代、中世を中心とした集落が営まれた複合遺跡。出土した 4 点の木簡からは、「出挙」の実態や、労働の際の稲の支給の実態、木簡の再利用の実態を知ることができる。	川口市鳩ヶ谷 本町 2-1-22	川口市 (川口市立 文化財センター 郷土資料館)	令 4・3・18	埼玉指 第 574 号	埼玉高速鉄道 鳩ヶ谷駅
74	前原遺跡玉作工房関係遺物	55 点	桶川市前原遺跡第 2 号住居跡（古墳時代前期）より出土の玉作関係遺物。勾玉未製品 25 点、管玉未製品 10 点、剥片 15 点、勾玉 1 点、砥石 4 点。玉製作工程を具体的に示す資料として貴重。	熊谷市船木台 4-4-1	埼玉県 (県文化財 収蔵施設)	令 5・3・17	埼玉指 第 577 号	J R 高崎線 吹上駅
75	反町遺跡玉作工房関係遺物	172 点	東松山市反町遺跡第 48 号住居跡（古墳時代前期）より出土の勾玉未製品 12 点、管玉未製品 106 点、剥片 44 点、石製品 2 点、鉄針 6 点、同住居跡と第 56 号住居跡が重複する部分から出土した砥石 2 点。古墳時代前期における玉類の生産を考える上で極めて重要。	熊谷市船木台 4-4-1	埼玉県 (県文化財 収蔵施設)	令 5・3・17	埼玉指 第 578 号	J R 高崎線 吹上駅
76	反町遺跡玉作工房関係遺物	1 点	東松山市反町遺跡第 206 号住居跡から出土のガラス小玉鋳型 1 点。同遺跡第 48 号住居跡出土の玉作工房関係遺物とともに一体のものとして高く評価。	東松山市大字 下野本 528-1	東松山市 (東松山市 埋蔵文化財 センター)	令 5・3・17	埼玉指 第 579 号	東武東上線 東松山駅 高坂駅

No.	名 称	員数	概 要	所在地	所有者 (管理者)	指定年月日	指定 番号	最寄り駅 (備考)
77	小敷田遺跡出土木簡 附 第九十七号土坑 出土土器十五点 第百五号土坑 出土土器二十三点	10 点	弥生時代から平安時代にかけての遺跡。文字が判読できる木簡は、古代における出挙の制度や地方における文字利用の実態を示すもので、古代の経済、社会、文化を考える上で欠かすことのできない資料。	熊谷市船木台 4-4-1	埼玉県 (県文化財 収蔵施設)	令 6・3・15	埼玉指 第 582 号	J R 高崎線 吹上駅

(7) 歴史資料

No.	名 称	員数	概 要	所在地	所有者 (管理者)	指定年月日	指定番号	最寄り駅 (備考)
1	本太氷川神社宮殿 付 木鉾二本 案一基	1 基	宮殿の屋根裏に「宝徳三年九月廿四日」、案に「文安五年六月五日」の墨書銘がある。小型かつ素朴な意匠。	さいたま市浦和区本太4-3-33	氷川神社	昭 45・3・30	埼玉指 第 236 号	J R 浦和駅
2	秩父神社文書	9 点	鎌倉時代の社殿造営に関する古文書の写本。万治 2 年修補の奥書。	秩父市番場町1-1	秩父神社	昭 48・3・9	埼玉指 第 263 号	秩父鉄道 秩父駅
3	黒糸威二枚胴具足 付 櫃一合	1 領	朱塗の本小札を用い、黒糸で威す。伝松平忠明着用。	行田市本丸12-5	東照宮	昭 49・5・28	埼玉指 第 271 号	秩父鉄道 行田市駅 (行田市郷土博物館に寄託)
4	定勝寺銅鐘	1 口	寛文 9 年。二郷半領の地名の由来を示す銘あり。鑄工田中丹波守藤原重正。全高 168cm、口径 92cm。	吉川市三輪野江 1553	定勝寺	昭 51・3・30	埼玉指 第 281 号	J R 武蔵野線 吉川美南駅
5	正法寺銅鐘	1 口	元亨 2 年。武州比企郡岩殿寺の銘。全高 146.3cm、口径 77.3cm。	東松山市岩殿 1229	正法寺	昭 52・3・29	埼玉指 第 290 号	東武東上線 高坂駅
6	徳川将軍献上太刀	6 口	4 代家綱、5 代綱吉、7 代家継、9 代家重、10 代家治の寄進。金梨子地の太刀拵付。	川越市小仙波町 1-20-1	喜多院	昭 52・3・29	埼玉指 第 291 号	J R 川越線 東武東上線 川越駅、 西武池袋線 本川越駅
7	不動院文書	12 点	戦国時代末期から江戸時代前期にかけての関東における修験道の動向を知る文書。葛飾郡小湊村（現春日部市）の不動院に伝来。	さいたま市浦和区高砂 4-3-18	埼玉県 (県立文書館)	昭 57・11・30	埼玉指 第 318 号	J R 浦和駅
8	塙保己一遺品及び関係資料	98 点	江戸時代の国学者塙保己一（本庄市児玉町保木野出身）関係資料群。「和学講談所規程書」「上京日記」「保己一の借用証」「短冊」等。	本庄市児玉町八幡山 368	本庄市	平 3・3・15	埼玉指 第 376 号	J R 八高線 児玉駅
9	弘安四年銘板石塔婆	1 基	弘安 4 年。武蔵七党児玉党の小代氏が小代重俊と先祖の供養のため建立。西国下向に直面した小代氏一族の結合の強化を示す貴重な在銘資料。高さ 223.0cm、下幅 61.0cm、阿弥陀一尊。	東松山市正代 864-1	青蓮寺	平 15・3・18	埼玉指 第 485 号	東武東上線 高坂駅
10	高岸家文書	8 通	武蔵国秩父郡上吉田村大棚部（現秩父市）の旧家、高岸家に伝来した 16 世紀後半の文書。北条氏の秩父地方における軍事行動、家臣団編成、領国支配や、戦国時代における山間村落の実態を伝える史料。	秩父市荒川久那 3805-7	秩父市 (浦山歴史 民俗資料館)	平 29・3・24	埼玉指 第 552 号	秩父鉄道 浦山口駅

No.	名 称	員数	概 要	所在地	所有者 (管理者)	指定年月日	指定番号	最寄り駅 (備考)
11	小室家資料	7622 点	比企郡番匠村（現ときがわ町）の在村医として開業し、村政・領主とも関係を持ち、近隣の文化人らとも交流を重ね、後に好古家のネットワークの中でも活動を行った小室家の歴史とともに形成された資料群。	さいたま市 浦和区高砂 4-3-18	埼玉県 (県立文書館)	平 29・3・24	埼玉指 第 553 号	J R 浦和駅
12	旧日本煉瓦製造株式会社関係資料	1459 点	明治 20 年に渋沢栄一や益田孝らによって創設され、平成 19 年に解散した日本煉瓦製造株式会社に関係する資料群。会社経営関係、煉瓦焼成窯関係、書状、写真などに分類される。	深谷市上敷免 28-10	深谷市	平 31・2・22	埼玉指 第 565 号	J R 高崎線 深谷駅 (県立文書館に 1324 点寄託)
13	稲生家資料	169 点	三河譜代の旗本稲生家に伝わった資料群。装束、旗指物、装身具のほか、旗本家の女性に関わる生活用品からなる。県指定文化財「稲生家文書」と関連。	さいたま市大 宮区高鼻町 4-219	埼玉県 (県立歴史と民 俗の博物館)	令 6・3・15	埼玉指 第 583 号	東武野田線 大宮公園駅